

*The Journal of
Nagasaki University of Foreign Studies
No. 20 2016*

일본인 학습자를 위한 한국어 의성어·의태어 교육 방안
- 만화, 동화, 드라마의 번역본을 중심으로 -

양정선

日本人学習者のための韓国語の擬声語・擬態語の教育案
—漫画、童話、ドラマの翻訳本を中心に—

梁 正 善

長崎外大論叢

第20号
(別冊)

長崎外国語大学
2016年12月

일본인 학습자를 위한 한국어 의성어・의태어 교육 방안

- 만화, 동화, 드라마의 번역본을 중심으로 -

양정선

日本人学習者のための韓国語の擬声語・擬態語の教育案

— 漫画、童話、ドラマの翻訳本を中心に —

梁 正 善

개요

본 연구에서는 일본의 만화, 동화, 드라마의 한국어 번역본을 대상으로 의성어・의태어의 한국어 번역 양상을 조사하였다. 이에 따라 ‘의성어・의태어 + 용언’의 형태의 목록을 선정하고 교육 방법을 고찰하였다. ‘의성어・의태어 + 용언’의 목록은 306 개를 추출하였다. 한국어 교재에서는 볼 수 없었던 어휘의 확장이 특징이라고 할 수 있다. 번역된 의성어・의태어의 목록은 만화, 동화, 드라마에 나타난 ‘의성어・의태어 + 용언’의 형태로 문맥의 흐름을 알 수 있도록 번역도 함께 제시하였다. 다음으로 ‘의성어・의태어 + 용언’의 목록을 양상별로 나누었다. 제 1 유형은 46 개, 제 2 유형은 43 개, 제 3 유형은 27 개, 제 4 유형은 189 개이다. 학습자에게는 의성어의태어가 어떤 어휘와 함께 공기관계에 있는지, 어떤 문맥에 사용되는 어휘인지를 명백히 밝혔다. 만화, 동화, 드라마의 예문을 통하여 교육안을 제안하였다. 학습자에게 의성어・의태어에 흥미를 유발시키고 효율적인 학습이 될 수 있도록 교수모형을 제안하였다는데 의의가 있다.

키워드: ‘擬声語・擬態語 + 用言’, 콜로케이션, PPP 모델

はじめに

本研究の目的は日本人学習者が難しいと感じている、韓国語の擬声語・擬態語を、効果的に教育することを目的としている。そのために、日本人が好きな漫画、童話、ドラマの韓国語翻訳本に基づいて、擬声語・擬態語の目録を選定し、その翻訳のパターンを分析し、これらを活用した教育案を提示することにする。

日韓両国の言語は、豊かな擬声語・擬態語を用いることによって、自らの感情や周囲の状況を表現する。しかし、擬声語・擬態語の学習は、それぞれの社会の独特な文化と話者個人の個別的な話し方に影響されるために、日本人韓国語学習者が簡単に学習できる領域とは言えない。今までの韓国語教育では、擬声語・擬態語は、日常生活で使われる実際のテキストではなく、主として教科書の用例の形で教えられてきた。教授方法も、音韻交代による語感の差異、単独形、反復形と派生による単語の形成など、形態論の特徴、意味と拡張の変化等による目録が選定され、提示されてきた(召수정 2014: 183)。しかし、擬声語・擬態語は、母音調和による対立、形態的な音節の反復だけでは、韓国語を学習する外国人を教育するには十分とは言えない(배현숙 2006: 98)。

従って、本研究では、日本人学習者に日常生活で使えるように、漫画、童話、ドラマなどで用いら

れている擬声語・擬態語を通じて、両言語の相違点と共通点を認知させ、文脈の流れによって、学習ができるように‘擬声語・擬態語 + 用言’の目録を選定することにする。漫画、童話、ドラマは絵と状況別に画面が提示される点で、擬声語・擬態語の学習を文脈の流れによってより効率的にできるものと期待できる。

1.1. 研究方法

本研究では、擬声語・擬態語の使用が著しい漫画作品と擬声語・擬態語の素材として一つのドラマの作品に現れる用例と擬声語・擬態語が断然際立つ童話の用例を抽出し、考察する。日常生活の語彙が扱われるドラマの台本を通して用例を抽出する。そのためにジャンル別にテキストのコーパスを構築してゆくことになる。

さらに、韓国語の翻訳を通して、日本語の擬声語・擬態語が韓国語に翻訳され現れるパターンを分類する。その特徴を調べた後、パターン別の分類の結果を基に、翻訳された擬声語・擬態語の目録を選定し、教育案を構築する。今までの韓国語教育で扱われてきた擬声語・擬態語の目録選定に採択された資料は、既存の国語学の擬声語・擬態語に対する成果と、韓国語学習用の目録、TOPIK（韓国語能力検定試験）出題の語彙、韓国語の教材等であった。このような目録作成よりも、実際に、日常生活で使えるテキストを素材にして、韓国語の擬声語・擬態語が学習者の母国語ではどのように対応しているのかを提示することの方が重要である。この目的のために、本研究では、擬声語・擬態語が著しく現れる漫画、童話、ドラマのテキストの翻訳本を基に目録を選定する。

本研究のため選んだ漫画作品は、日本だけでなく韓国でも人気をばくしドラマまで作られた漫画『のだめカンタービレ』とこの漫画の韓国語翻訳版『노다메 칸타빌레』である。童話作品は日本人学習者に親しまれている、日本伝来の童話と韓国語を学ぶ学習者に有用な韓国伝来の童話を選定した。ドラマは2009年に韓国で作られ2010年に日本で人気放映された『미남이시네요 1, 2』と2011年に日本でリメイクされた翻訳版『미남이시네요 1, 2』『美男ですね 1, 2』を選んだ。具体的な目録は〈表1〉、〈表2〉である。翻訳作品は、日本人学習者に慣れている素材であり、学習者が簡単に接することができるというメリットがある。漫画、童話、ドラマの翻訳を通して一対一対応、語彙の対応、韓国語の擬声語・擬態語の対応パターン別に分け、目録を選定する。これをまたパターン別に分け、その特徴を述べる。

〈表1〉 韓国語の用例の出典

장르	번호	저자, 제목, 출판사
만화작품	1	二ノ宮知子 (2010), のだめカンタービレ (1 - 5 卷), 講談社 kiss コミックス
동화작품	1	新井奈美 (2013), 다락원 일한 대역문고 - 초급 6 일본 전래동화, 다락원
	2	岡智之 (2011), 다락원 일한 대역문고 - 초급 9 일본신화, 다락원
	3	조희철·男澤慶子·堀野裕子 (2010), 일본 옛날 이야기 시리즈 1 일본 재미있는 옛날 이야기, (주) 시사일본어사
	4	조희철·堀野裕子 (2011), 일본 옛날 이야기 시리즈 2 일본 재미있는 옛날 이야기, (주) 시사일본어사
	5	황금자 (2013), 일본어 독해가 즐거워지는 일본 전래 동화, 동양북스
	6	황금자 (2011), 일본어 독해가 즐거워지는 세계 명작 동화, 동양북스
	7	황금자 (2009), 일본어 독해가 즐거워지는 한국 전래 동화, 동양북스
	8	황금자 (2009), 일본어 독해가 즐거워지는 이솝 우화, 동양북스
드라마대역본	1	呉美智 (2012), 美男ですね 1 (드라마의全セリフで学ぶ韓国語), キネマ旬報社
	2	呉美智 (2012), 美男ですね 1 (드라마의全セ리프で学ぶ韓国語), 키네마旬報社

〈表2〉 日本語の用例の出典

장르	번호	저자, 제목, 출판사
만화작품	1	二ノ宮知子 (2010), のだめカンタービレ (1 - 5 卷), 講談社 kiss コミックス
동화작품	1	新井奈美 (2013), 다락원 일한 대역문고 - 초급 6 일본 전래동화, 다락원
	2	岡智之 (2011), 다락원 일한 대역문고 - 초급 9 일본신화, 다락원
	3	조희철·男澤慶子·堀野裕子(2010), 일본 옛날 이야기 시리즈1 일본 재미있는 옛날 이야기, (주) 시사일본어사
	4	조희철·堀野裕子 (2011), 일본 옛날 이야기 시리즈2 일본 재미있는 옛날 이야기, (주) 시사일본어사
	5	황금자 (2013), 일본어 독해가 즐거워지는 일본 전래 동화, 동양북스
	6	황금자 (2011), 일본어 독해가 즐거워지는 세계 명작 동화, 동양북스
	7	황금자 (2009), 일본어 독해가 즐거워지는 한국 전래 동화, 동양북스
	8	황금자 (2009), 일본어 독해가 즐거워지는 이솝 우화, 동양북스
드라마대역본	1	呉美智 (2012), 美男ですね1 (ドラマの全セリフで学ぶ韓国語), キネマ旬報社
	2	呉美智 (2012), 美男ですね1 (ドラマの全セリフで学ぶ韓国語), キネマ旬報社

1.2. 先行研究

韓国語教育の側面からの先行研究には、次のようなものがある。

外国人学生に擬態語の学習を設問し、エラーを分析し体系的に擬声語・擬態語の教育方法が必要だと主張した김중섭 (2001)。카츠다 (2001) は、日本語を母語とする韓国語学習者に擬声語・擬態語のアンケート調査を行い、教材の分析を通じて目録を選定した後、日本人学習者に実際教育方法を提示した。배현숙 (2006) は、擬声の直感テストを通して擬声語が直感に依存する程度が大きいという予測が間違っていることを指摘し、持続的な教育と擬声語・擬態語の具体的な教育モデルを提示した。이기용 (2008) は、漫画『ワンピース』20冊を両言語で対照分析し、形態と感覚の領域で類似性を模索した。そして、抽出された語彙資料を日本人学習者のために、擬声語・擬態語の基礎資料として構築した。また、강경희 (2009) は、初級・中級・高級のように、段階別に擬声語・擬態語の教育案を提示した。안유진 (2010) は高級学習者を対象に漫画、伝来童話、新聞、記事タイトル、広告等の実際資料を活用し擬声語・擬態語の教育案を提示した。이란희 (2012) は、今までの外国人のための擬態語教育には限界があると指摘し、その限界を乗り越えるための代案として、漫画、新聞記事のトピック、童話を用いて、教案を提示した。また、教案を検証するために模擬授業を実施した。강항비 (2013) は、母国話者が実際に用いる擬声語・擬態語を中心に韓国語教育用の目録とそれに従い教育内容を揃えた。한주현 (2015) は、学習用の擬声語・擬態語の連語を選定、教育案を提示した。連語関係を活用し、実験集団とコントロール集団に分け教育効果を実験で検証した。

先行研究の分析経過を経て、韓国語と言語体系が類似している日本語話者には、韓国語の擬声語・擬態語は容易に習得できないと考える。そこで、漫画、童話、ドラマを通して擬声語・擬態語の目録を選定し、教育案を提示する。

2. 韓国語の擬声語・擬態語の学習の必要性

本章では、韓国語の擬声語・擬態語の学習がなぜ重要なのかを述べる。一般的に韓国語を習う学習者は擬声語・擬態語の教育を望んでいながらも乏しい教育課程と教材¹⁾で間違いを繰り返し体系的に教育が成されていない現状がある。

김중섭 (2001: 181) が述べているように、擬声語・擬態語の学習アンケートに外国人学習者は初

級・中級・上級の課程を問わず韓国語学習の過程では擬声語・擬態語の学習が必要だと答えている。김미옥 (2004: 43~49)ⁱⁱは、擬声語・擬態語の教育的な価値にも触れている。조현용 (1999: 272)は、外国人学習者が多様な擬声語・擬態語を上手く駆使するなら韓国語の水準が高いと見なしている。そして、擬声語・擬態語を外国人学習者が難しいと感じている語彙の中の一つだと指摘した。また、擬声語は言語の‘恣意性’という例外項目に扱われる程、音の意味の間に必然性がある項目であるが、大半の擬声語は音と言語の間に理解可能性が低く音が類似しているが各国別の言語圏に合わせ発達してきたため言語圏別に学習者に国別の擬声語を調べて発表させると擬声語に対する興味が増すと指摘した。擬態語は、様子を真似した言葉なので国別に単語が異なり、そういう様子を表す単語さえもない場合がある。したがって、韓国語は擬態語が著しく発達した言語であるため擬声語と擬態語の差異を注意して指導すべきである、と指摘した。조현용は、二つの擬態語教育の方法を提案している。一つは、文脈を通じた教育方法である。大部分の場合、擬態語は文脈で使われ、擬態語を取り除いても文脈を理解するには何の問題もない。もう一つは、擬態語の語源は大部分名詞とつなげて記憶する一種のキーワード (Key-word) を用いる方法である。意味の類似性がある語彙と一緒に教授するなら覚えるにも効果的であると言及している。

김중섭 (2001: 188)は音韻的なアプローチ (音の高低、母音調和、子音の語幹の差異) と形態論的なアプローチ (接尾辞、疊語の形態)、語源論的なアプローチの方法を提示したが、具体的で実際の教授方法には触れていない。카즈다 (2001: 34) のアンケート結果から、擬声語・擬態語は初級の段階から導入すべきであり、また、他の領域の語彙との関連性があることを述べている。

문정현 (2011: 30)は、韓国語の学習に象徴副詞 (擬声語・擬態語) を共起関係にある用言と共に固まり (chunk) として提示すると学習者の負担は減り、エラーも減らすことができると指摘した。すなわち、正確性と流暢性を高めることができるのである。배도용 (2013: 168)は、韓国語の擬声語・擬態語の教材開発の方向として‘擬声語・擬態語+叙述語’をかたまり (chunk) の形で提示することにより、学習者の実際の活用能力を高めることができると主張した。

翻訳本に基づき擬声語・擬態語を学習する際、母国語に対応する韓国語の擬声語・擬態語に接することによって、初級段階から簡単に擬声語・擬態語の語彙を拡張することができる。従って、本研究では翻訳本の漫画、童話、ドラマからの用例の擬声語・擬態語のパターンを調べ、目録を選定することにする。また、漫画、童話、ドラマ別に教授案も提示する。

3. 擬声語・擬態語の翻訳パターン

本章では、韓国語学習者が教材以外の部分では触れることが出来ない漫画、童話、ドラマの翻訳本を通して翻訳パターンを調べ分析を行う。

分析資料の擬声語・擬態語の判別は「朝鮮語象徴語辞典」ⁱⁱⁱ、「現代擬音語・擬態語用法辞典」^{iv}、「暮らしの言葉 擬音・擬態語辞典」^v、「正しい意味と用法がすぐわかる擬音語・擬態語使い方辞典」^{vi}、「擬声語・擬態語4500日本語オノマトペ辞典」^{vii}、표준국어대사전^{viii}、우리말 의성어・의태어사전^{ix}をもとにした。漫画、童話、ドラマの特徴がよく盛り込まれた翻訳本を土台にして擬声語・擬態語のパターンを調べる。まずは結果として〈表5〉、〈表6〉、〈表7〉にまとめた。

〈表5〉 漫画翻訳本の擬声語・擬態語の対応パターン分析結果

対応パターン	全体翻訳用例の数	百分率 (%)
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の擬声語・擬態語	1317	92.81
韓国語の一般語彙 → 日本語の擬声語・擬態語	54	3.664
韓国語の説明句・節 → 日本語の擬声語・擬態語	25	1.761
韓国語の擬声語・擬態語の翻訳省略 → 日本語の擬声語・擬態語	9	0.634
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の一般語彙	3	0.211
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の説明の句・節	0	0.000
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の擬声語・擬態語の表記なし	9	0.634
誤訳	2	0.140
合計	1419	100.00

〈表6〉 童話翻訳本の擬声語・擬態語の対応パターン分析結果

対応パターン	全体翻訳用例の数	百分率 (%)
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の擬声語・擬態語	412	92.17
韓国語の一般語彙 → 日本語の擬声語・擬態語	29	6.48
韓国語の説明句・節 → 日本語の擬声語・擬態語	0	0.000
韓国語の擬声語・擬態語の翻訳省略 → 日本語の擬声語・擬態語	5	1.121
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の一般語彙	0	0.000
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の説明の句・節	0	0.000
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の擬声語・擬態語の表記なし	0	0.000
誤訳	1	0.224
合計	447	100.00

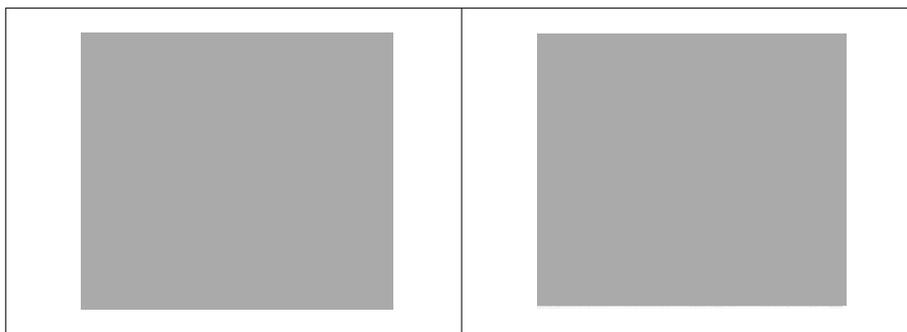
〈表7〉 ドラマ翻訳本の擬声語・擬態語の対応パターンの分析結果

対応パターン	全体翻訳用例の数	百分率 (%)
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の擬声語・擬態語	574	64.93
韓国語の一般語彙 → 日本語の擬声語・擬態語	29	3.280
韓国語の説明句・節 → 日本語の擬声語・擬態語	3	0.339
韓国語の擬声語・擬態語の翻訳省略 → 日本語の擬声語・擬態語	1	0.113
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の一般語彙	100	11.31
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の説明の句・節	35	3.959
韓国語の擬声語・擬態語 → 日本語の擬声語・擬態語の表記なし	142	16.06
誤訳	0	0.000
合計	884	100.00

3.1. 韓日擬声語・擬態語の一対一の翻訳パターン

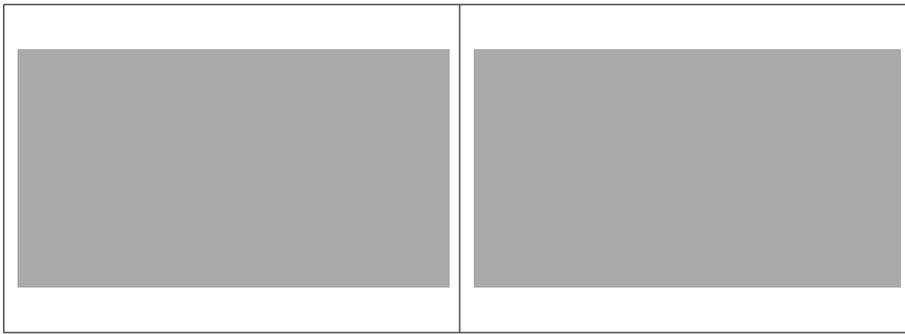
日本語の擬声語・擬態語が韓国語の擬声語・擬態語に一対一で対応するパターン1317個ある。次の例文をマンガの絵と共に比較する。

(1)



(『노다메』 3-177 두근두근(tuguntugun))(『のだめ』 3-175 ドキドキ)

(2)



(『노다메』 3-142 짹짹)

(『のだめ』 3-140 パチパチ)

この例文(1)、(2)は、韓国語の擬声語・擬態語 ‘두근두근’, ‘ 짹짹’ が、日本語の ‘ドキドキ’, ‘パチパチ’ と対応している。例文に見られるように、カットの背景に位置する擬声語・擬態語は、大部分、韓日一対一の関係にある。このように背景に使われた擬声語・擬態語は、音や状態を文字として借用し、描かれたと考えられる。すなわち、聴覚であって、描写的な部分は視覚化されたと見なされるため、擬声語・擬態語に対応している。

次は、童話の韓国語の擬声語・擬態語が日本語の擬声語・擬態語と一対一に対応しているパターンを調べる。412個の一対一のパターンの結果が得られた。下記の例文はその一部分である。

(3) 반짝반짝 빛나는 금도끼를 가지고 나왔습니다.

(한국 전래 동화, 금도끼 은도끼 p.119)

キラキラ光る金の斧を持って出てきました。

(한국 전래 동화, 金の斧銀の斧 p.49)

(4) 여기 파라, 멍멍하고 짓었습니다.

(다락원 일한 대역문고, 꽃 피우는 영감 p.33)

ここ掘れワンワンとほえました。

(다락원 일한 대역문고, 花さかじいさん p.32)

次は、ドラマ対訳本の「美男ですね 1, 2」の一対一のパターンである。574個の韓国語の擬声語・擬態語が日本語の擬声語・擬態語に翻訳された。

(5) 깜짝 놀랐네. (미남이시네요. p.2-120)

びっくりした. (美男ですね. p.2-120)

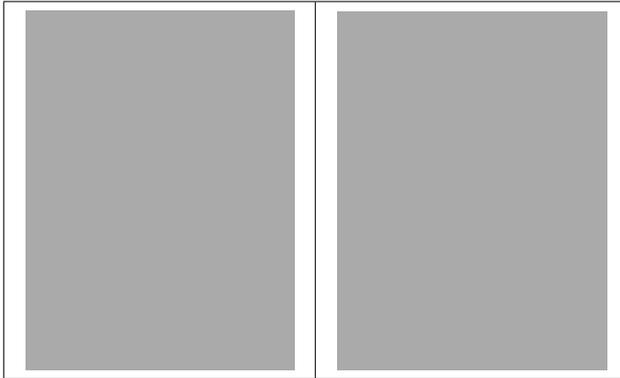
(6) 꼭 안아주세요. (미남이시네요. p.1-213)

ぎゅっと抱きしめてください. (美男ですね. p.1-213)

3.2. 韓国語の擬声語・擬態語の日本語一般語彙の翻訳

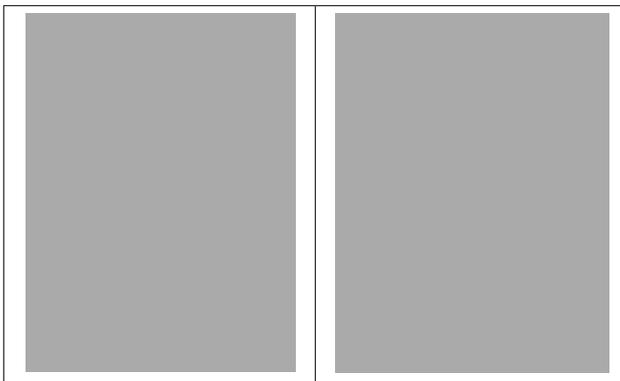
この節では、韓国語の擬声語・擬態語が日本語の一般語彙に対応する例文を取り上げる。まず、韓国語の擬声語・擬態語が日本語の一般語彙に対応されるパターンである。

(7)



(『노다메』 1-94 반짝반짝) (『のだめ』 1-94 発情)

(8)



(『노다메』 3-17 깜빡) (『のだめ』 3-15 なんて)

例文(7)、(8)において、‘반짝반짝’は「発情」と翻訳されている。‘깜빡’は、記憶や意識が暫くぼうっとなる状態の擬声語・擬態語なので、日本語の‘なんて’と表記され‘어째서どうして’、‘왜なぜ’、‘어떻게どうやって’等で翻訳されている。童話の翻訳本では、これに相当するパターンは見当たらない。ドラマの翻訳本では100個の用例が見られた。例文は次の通りである。

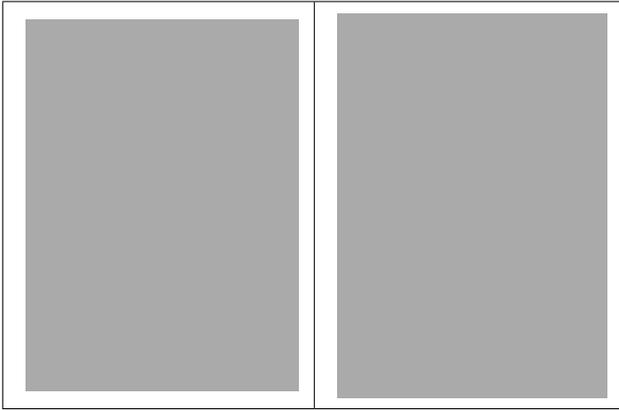
(9) 퉁퉁 부은 눈으로 가서. (미남이시네요. p.1-153)そんな泣きはらした顔で出ていって. (美男ですね. p.1-153)(10) 엉엉 우는. (미남이시네요. p.2-222)大声で泣く. (美男ですね. p.2-222)

例文(9)の‘퉁퉁’は、泣いている目がパンパンに腫れている状態を表す擬声語・擬態語が使われ、主人公の状況をさらにリアルに描写している。日本語では‘そんな’と訳されていることで解る。(10)の例文は泣いている場面を極めて写實的に強調するために、‘엉엉’という高らかに大泣きする声、またはその様子を表す時に使われる‘엉엉’の擬声語・擬態語が、日本語では‘大声’と訳されている。

3.3. 韓国語の擬声語・擬態語の日本語翻訳省略パターン

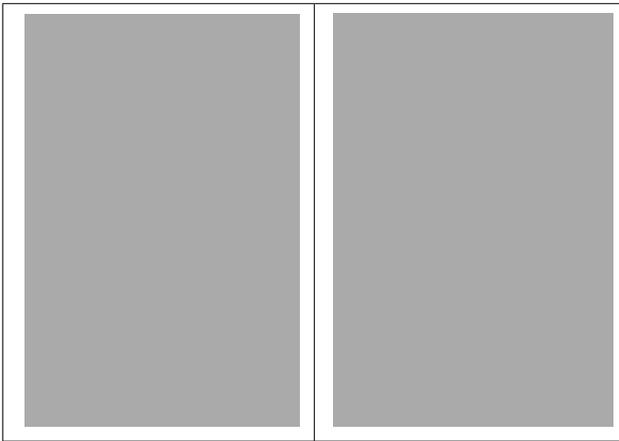
この節では、韓国語例文では擬声語・擬態語が表れるが、日本語では擬声語・擬態語が存在しない例文を取り上げる。漫画では9個の例文が見られた。

(11)



(『노다메』 5-42 눈에도 활 띄고) (『のだめ』 5-40 目立つし)

(12)



(『노다메』 1-175 큰 소리 뽕뽕 치고) (『のだめ』 1-173 言うこと大きくて)

例文(11)は、韓国語では ‘활’ を配置して、目立つという感じを話者にアピール、強調しているが、ふきだしには擬声語・擬態語が見当たらない。例文(12)は、「韓国語では ‘뽕뽕’ という擬声語・擬態語が後文の叙述語 ‘치다’ を強調するために擬声語・擬態語を挿入した結果と言えよう。‘큰 소리 치다’ というコロケーションの表現で ‘뽕뽕’ という擬声語・擬態語を使うことによって、効果的な意味伝達が行われている。

このように、漫画に使われている擬声語・擬態語はその機能^{xi}を見ても、一つの単語に過ぎないのではなく、一つの文章、テキストまでもを代表することができる。それは説明ではなく、感覚を持って直接伝える特徴であると言える。これに反して、問題点として指摘できるのは、ふきだしの外に使われている場合、その語彙が持つ本来の意味を重視するよりは、絵を通して適当に合わせた例が多かった点である。童話の翻訳本には韓国語の擬声語・擬態語の翻訳の形が日本語にはない例文がある。ドラマには142個の例文がある。その例文の一部を挙げておく。

(13) 깜짝 놀란다 (미남이시네요 . p.1-272)

驚く (美男ですね . p.1-272)

(14) 반짝반짝 빛이 나네요 (미남이시네요 . p.2-165)

輝いているのでしょう (美男ですね . p.2-165)

(13)、(14)の例文では、韓国語では擬声語・擬態語が表れたドラマの例文であり、擬声語・擬態語を使うことにより強調の機能と状況をリアルに描写しているように見える。対応する日本語には擬声語・擬態語は見当たらない。

3.4. 韓国語の一般語彙の日本語における擬声語・擬態語の翻訳パターン

この節では、韓国語の擬声語・擬態語ではなく、語彙、句、節に対応、省略されたパターンについて簡単に論ずる。

漫画では、韓国語の名詞、副詞、形容詞、動詞等の一般語彙が、日本語の擬声語・擬態語に対応する例文が54個ある。童話の韓国語の一般語彙が日本語の擬声語・擬態語に対応するパターンは29個ある。ドラマの韓国語の一般語彙が日本語の擬声語・擬態語に翻訳された例文は29個である。

次に、韓国語の文章や絵の状況による句及び節に対応する日本語に擬声語・擬態語の形で表れている例に触れておく。童話では、状況、説明、句、節に翻訳される例文は見当たらない。ドラマの状況説明、句、節に対応される例文は3個見いだすことができた。

韓国語では擬声語・擬態語が見られないが、日本語には擬声語・擬態語が対応しているパターンが見られた。童話では5個、ドラマの対訳本の場合は1個の例文があった。

これ以外に、日本語の状況、句、節に韓国語の擬声語・擬態語が表れた例文が35個見られた。また、漫画の翻訳本では誤訳の例文も見られた。

以上、日本語の擬声語・擬態語が韓国語にどのようなパターンで対応しているかを漫画、童話、ドラマの用例を通して確認した。次の章では、翻訳本を活用した擬声語・擬態語の教育案を論じ‘擬声語・擬態語+用言’の形の目録を定めることにする。

4. 翻訳本を活用した擬声語・擬態語の教育案

4.1. ‘擬声語・擬態語+用言’の目録の選定

本章では翻訳本を基に擬声語・擬態語の教育内容を述べる。まず、翻訳本の擬声語・擬態語の目録を選定する。今まで翻訳本に基づき行われた擬声語・擬態語の研究は極めて少ない。外国人を対象とする韓国語の擬声語・擬態語の目録を定め、特定の基準によるグレードを付けた研究も見受けられない。語彙の目録を選定する際に一般的に使われるのは頻度である。しかし、頻度だけを考慮し目録を作成するのも十分ではない。高頻度の語彙が最も使える語彙とは断言できない(이현정 2013: 207)。一方、これに先立って배현숙(2006: 109)は、学習者の興味や意欲を考え、擬声語・擬態語の目録を作成する必要性を述べた。同様に、김수정(2014: 184)は、形態的な特徴の母音調和と子音交代の語幹の相違点等を指導するに当たり、‘脈絡’がわからなくなる恐れがあると指摘した。すなわち、文化を基盤とする語彙として擬声語・擬態語をパターン化しカテゴリ化する。そして個別語彙のコロケーション関係、慣用表現、修辭的表現などに焦点を当てて指導すべきであると述べた。

まず、韓国語の「コロケーション辞典」に出ている象徴副詞(擬声語・擬態語)と、コロケーション辞典には載っていないが、実際に韓国語で使える必要な語彙を目録とし、先行語と後行語の語彙関係を収録した「コロケーション目録」の象徴副詞(擬声語・擬態語)には202個が収録されている。しかしながら、コロケーションの目録には例文が載っておらず、学習者が効率的に使うには無理がある。

「韓国語学習辞典」の象徴副詞（擬声語・擬態語）は、総数23個であり、重要な単語の目録に載せている象徴副詞は9個に過ぎない。한주연 (2015) は、6種の教材を分析して最終的に114個の教育用の擬声語・擬態語のコロケーションの目録を確定した。更に、叙述語別に擬声語・擬態語のコロケーション目録を84個選定した。先行語と後行語の共起関係がわかるように提示したことを高く評価する。

카즈다 (2001: 18~19) は、日本語圏の韓国語学習者が韓国語の擬声語・擬態語に対する認知調査を行うため、진기호 (1998) と서상규外 (1998) が提示された90個の擬声語 (27)、擬態語 (63個) を選び出し、これに基づき、基本的な擬声語・擬態語の目録ⁱⁱⁱを選定した。しかし、不十分な点として、段階別に分けていないことと、擬声語・擬態語が用言との共起関係を通して語彙が拡張する事実が記述されていない。

翻訳本から選んだ擬声語・擬態語の中で、韓国語と日本語の擬声語・擬態語の一対一のパターン、日本語が韓国語の擬声語・擬態語に対応、また日本語では擬声語・擬態語が見られないが、韓国語では見られたパターンだけを選定した。本研究では‘擬声語・擬態語+用言’の形で翻訳されたものだけを分け、かたまり (chunk) で文脈の流れが学習出来るように翻訳された用例だけに絞った。

翻訳による‘擬声語・擬態語+用言’の形で選定された目録は総306個である。

ここでは、紙面の関係上、一部分だけ取り上げる。

〈表8〉 翻訳本による‘擬声語・擬態語+用言’の目録

番号	擬声語・擬態語	用言	擬声語・擬態語	用言 (述語)	대응 유형
1	가만히	서다	じっと	立つ	어휘
2	갈기갈기	찢기다	ボロボロ / (胸が) ズタズタ	引き裂かれる / (に) なる / される	일대일
3	기우똥	쏟리다	ぐらっと	傾く	일대일
4	까닥까닥	흔들다	—	指切りをして手を放す	어휘
5	까악까악	울다	カーカー	鳴く	일대일
6	깔깔	웃다	ケラケラ	笑う	일대일
7	깜빡깜빡	뜨다	파치파치	させる	일대일
8	깜짝	놀라다	びっくり / はっと	する	일대일
9	깡충깡충	뛰다	びよんびよん	跳ぶ	일대일
10	꼬끼오	울다	コケッココ	鳴く	일대일
省略					
299	흔들흔들	흔들리다	ぶらぶら	ゆれる	일대일
300	흘금흘금	움직이다	きよるきよる	動かす	일대일
301	흘끗	보다	ちらりと / ちらっと	見る	일대일
302	흠뻑	젖다	—	ずぶ濡れになる	어휘
303	히죽	웃다	にやりと	笑う	일대일
304	히죽히죽	웃다	にやにや	笑う	일대일
305	힐끗	보다	ちらっと	見る	일대일
306	힐끗힐끗	보다	ちらちら	見る	일대일

4.2. ‘擬声語・擬態語+用言’のパターン別の特徴

擬声語・擬態語のパターン別の分類の方法は国語母語話者は勿論のこと外国人学習者にも使えると提示した손남익 (1998) のパターン別特徴を参考にした。本項には次のようにパターン別に分類を提示する。

〈表9〉 ‘擬声語・擬態語+用言’のパターン別分類方法

	構成の特徴	손남익 (1998)
第1パターン (一対一)	擬声語・擬態語と共に起する主語と叙述語が各々一つである。	{動物名} - 야옹 - {울다}
第2パターン (多対一)	擬声語・擬態語と共に起する主語は特定の意味で表記される数個の語彙であり、共に起する叙述語は一つの語彙である。	[+液体] - 벌컥벌컥 - {마시다}
第3パターン (一対多)	擬声語・擬態語と共に起する主語は一つの語彙であり、共に起する叙述語は一定の意味群に属する数個の叙述の形態である。	[사람] - 티격티격 - {싸우다} U ^{xiii} {다투다}
第4パターン (多対多)	擬声語・擬態語と共に起する主語は数個の語彙であり、共に起する叙述語は一定の意味群に属する叙述語である。	[+液体] - 뽕뽕 - {얼다} [+身体] - 뽕뽕 - {얼다} [+物][+끈] - 뽕뽕 - {뚝다} [+人] - 뽕뽕 - {숨었다}

4.2.1. 第1パターン

손남익 (1998 : 123) によると、第1パターンは‘ { } - 擬声語・擬態語 - { } ’のように記号化できる。{ } 記号は、括弧の中に特定の言葉の一つだけ使うことができることを意味している。すなわち、擬声語・擬態語と共に起できるのは、先行語と後行語が、各々一つである場合に、一対一のパターンになるのである。人の泣き声や笑い声、動物の鳴き声を表す擬声語が多く、人の歩く様子と同じく特定の対象の具体的な動作や姿を表す擬声語・擬態語が主となる。

- (15) A. { 까마귀 } 가 까악까악 { 울다 }
 カラスがカーカー鳴く。
- B. ([사람]이) 꾸벅꾸벅 졸다
 こっくりこっくり居眠りする。
- C. ([사람]이) 하하하 { 웃다 }
 あははは 笑う。

(15)の例文Aの動物の鳴き声を表す擬声語・擬態語は、大抵の場合、第1パターンに属する。Bのように擬声語・擬態語がどういう対象の特定の様子や行いを表す場合も第1パターンに属する。Cのように先行語の意味が人であり省略が可能な場合も第1パターンに含まれる。翻訳本に表れたパターンも、一対一のパターンで先行語と後行語が制限されるため、語彙の情報が少なく初級段階での習得が容易である。

〈표 10〉 翻訳本による ‘擬声語・擬態語+用言’の第一パターン (46個)

{ 까마귀 } 까악까악 울다 / 짹짹 웃다 / 짹짹 짹 짹 뛰다 / { 닭 } 꼬기오 울다 꾸벅 인사하다 / 꾸벅꾸벅 졸다 / 느릿느릿 가다 / 뒤뚱뒤뚱 걷다 / 또각또각 걷다 방긋 웃다 / 붕 날다 / 붕붕 날아다니다 / 배시시 웃다 / 빙긋 웃다 빙글레 웃다 / 빙글빙글 돌리다 / 뽕뽕 올라오다 / 살글살글 걷다 / 성큼성큼 걷다 생긋생긋 웃다 / 생긋 웃다 / 실실 웃다 / 씩 웃다 / 안절부절 못하다 / 야옹 울다 야옹야옹 울다 / 어슬렁어슬렁 걷다 / 어흥 벌리다 / 영영 울다 / 짹짹 울다 / 찹찹 짹다 { 가슴 } 쿵쿵쿵 뛰다 / [사람] 쿵쿵 자다 / 쿵덕 { 소리 } 들리다 / 터덜터덜 걷다 터벅터벅 돌아가다 / 퐁퐁 1 붓다 / 파닥파닥 날다 / 펄 1 { 소리 } 나다 / 펄펄 1 터지다 피식 웃다 / 픽 웃다 / 하하하 웃다 / 할짝할짝 웃다 / 히죽 웃다 / 히죽히죽 웃다
--

4.2.2. 第2パターン

多対一の第2パターンは、擬声語・擬態語と共に起る先行語は特定の意味を持ち数個の語彙であり、共に起る叙述語は一つの語彙である。‘ [] - 擬声語・擬態語 - { } ’の形で表示する。[] 記号は括弧の中に共通の意味を持つ数個の語彙が使われ、{ } は一つの語彙だけの場合である。場合によっては [] の代わりに、{ } U { } と表示することもできる。

(16) A. ([+ 사람]U[+ 동물]이) 깜짝 놀라다.

おばあさんはびっくりしました。

B. [액체] 꿀꺽꿀꺽 마시다

鬼ババはガブガブ (と) 川の水を全部飲み干すとまた、しつこく追いかけてきます。

(16) のAは、先行語が省略できるが2つ以上の意味を持っているため、第2パターンに含めた。先行語の意味だけを提示すると過度に抽象的になり意味の範疇が広すぎて、正しい‘擬声語・擬態語+用言’の形を作り出せない可能性がある。‘ 할머니는 깜짝 놀랐다. 마귀할멈은 강물을 벌컥벌컥 다 들이치고 또 끈질기게 뒤쫓아 왔어요.’のように、翻訳本では‘擬声語・擬態語+用言’の形を見ることが出来た。第2パターンは、擬声語・擬態語の先行語に複数個の語彙が来ることが出来、文の成分としては主語や目的語に該当し、品詞で言えば名詞となる。

〈表 11〉 翻訳本による‘擬声語・擬態語+用言’の第2パターン (43個)

갈기갈기 찢기다 / 기우똥 쏘리다 / 폼짝 안 하다 / 깜짝 놀라다 / 꾸르륵 { 소리 } 나다 / 꿀꺽 삼키다 / 꿀꺽꿀꺽 마시다 / 대굴대굴 구르다 데굴데굴 떨어지다 / 동동 구르다 / { 개 } 멍멍 짖다 미끈미끈 하다 / 미끌미끌 미끄러지다 / 바스락 { 소리 } 나다 벌벌 ¹ 떨다 / 벌컥 ¹ 마시다 / 보글보글 가라앉다 / 부르르 떨다 / 부스스 뜨다 빙빙 돌다 / 뱅뱅 돌다 / 사랑사랑 불다 / 살살 ² 문지르다 살살 ¹ 흔들다 / 살짝 ¹ 떼다 / 소곤소곤 대화하다 술렁술렁 움직이다 / 시끌시끌 { 대소동 } 벌이다 / 실룩실룩 움직이다 오돌오돌 ² 떨다 / 와르륵 떨어지다 / 우물쭈물 하다 우지직우지직 무너지다 / 움찔 놀라다 / 이글이글 불타다 짹짹 { 소리 } 나다 / 찌릿찌릿 하다 / 철썩 불다 / 초롱초롱 젓다 털썩 주저앉다 / 파들파들 떨다 / 풍당 뛰어들다 / 흠뻑 젓다
--

4.2.3. 第3パターン

一対多のパターンで、擬声語・擬態語と共に起る主語は一つの語彙であり、共に起る叙述語は一定の意味群に属する複数個の叙述語である。

{ } - 擬声語・擬態語 - [] の形と { } - 擬声語・擬態語 - { } U { } の形で表記する。すなわち、擬声語・擬態語の先行語は一つだけであり、擬声語・擬態語の後行語は一定の意味群に属する複数個の叙述語が生じる。

(17) A. ([음식]을) 우적우적 { 씹다 } U { 먹다 }

がぶりと食べる。

B. ([사람]이) 새근새근 { 자다 } U { 잠들다 }

すやすや眠る。

例文(17)において、‘擬声語・擬態語+用言’の形で、後行語は、類似関係を結んでいると考えられる。日本語の‘がぶりと’は、叙述語が‘飲む、食いつく’のように、‘떡다’と関連する類似関係の用言を伴っている。‘すやすや’も‘眠る、居眠りする’のように類似関係にある叙述語を従えている。

〈表 12〉 翻訳本による‘擬声語・擬態語+用言’の形の第3パターン (27個)

까닥까닥 흔들다 / 두근두근 떨리다 / 동둥 떠내려오다 / 드르렁드르렁 자다 따끔따끔 하다 / 땡 ² 울리다 / 벌떡 ¹ 눕다 / 벌떡 ¹ 일어나다 새근새근 ¹ 자다 / 새근새근 ¹ 잠들다 / 아작아작 먹다 / 와락 안다 우당탕 쓰러지다 / 우당탕 떨어지다 / 우적우적 씹다 / 우적우적 먹다 쫑긋쫑긋 하다 / 쫑긋쫑긋 움직이다 / 척척 걸어가다 / 척척 오르다 {새} 푸드득푸드덕 날다 / 푸드득푸드덕 {소리} 나다 / 화들짝 놀라다 흘금흘금 보다 / 흘끗 보다 / 힐끗 보다 / 힐끗힐끗 보다
--

4.2.4. 第4パターン

第4パターンは、擬声語・擬態語と共に起る先行語と後行語が複数個ある場合で‘[] - 擬声語・擬態語 - []’で表す。손남익 (1998: 132) は、先行語と後行語が特定の意味を持つ複数個の語彙で表すのが理想的であるが、概ね、‘[] - 擬声語・擬態語 - { }’の形が、多く表れると指摘している。

(18) A. {정신}이 번쩍 {들다}

はっと {目} を開ける。

{귀} U {눈}을 번쩍 {뜨다}

はっと {氣が} つく。

{번개}가 번쩍 {치다}

B. [+사람] ∩^{adv} [+복수]가 우르르¹ {모이다} U {쏟아지다} U {걷다} U {나가다}

たくさん集まっている。

ざくざく／ざっくり出てくる。

ぞろぞろ歩く。

ぞろぞろ行く。

(18) のAのように先行語が一つの単語ではなく‘{정신}이 번쩍 {들다}, {귀} U {눈}을 번쩍 {뜨다}, {번개}가 번쩍 {치다}’の複数の先行語と多くの後行語が伴う。日本語の先行語と後行語が複数伴われるという点で第4パターンは同一だと言える。

〈表 13〉 翻訳本による‘擬声語・擬態語+用言’の第4パターン (189個)

가만히 서다 / 깜빡깜빡 뜨다 / 꼭 ² 감다 / 꼭 ² 안다 / 꼭 ² 누르다 / 꼭 ² 잡다 / 꼭 ² 쥐다 퐁퐁 물다 / 파당 {소리} 내다 / 짹 깨물다 / 짹 누르다 / 짹 다물다 / 짹 안다 / 짹 움켜쥐다 짹 잡다 / 짹 쥐다 / 짹 물다 / 짹 붙잡다 / 꼭 감다 / 꼭 누르다 / 꼭 밟다 / 꼭 쥐다 꼭 참다 / 나풀나풀 내리다 / 덩석 물다 / 드르륵드르륵 들리다 / 딱 날아오르다 / 딱 맞다 딱 붙다 / 딱 감다 / 떡 ³ 벌리다 / 푹 ¹ 나오다 / 푹 ¹ 떨어지다 / 푹푹 ¹ 두드리다 푹 ² 떨어지다 / 푹푹 ¹ 부러뜨리다 / 푹푹 ¹ 흘리다 / 푹푹 ¹ 떨어지다
--

뭉게뭉게 나오다 / 바삭¹ 붙다 / 반짝반짝¹ 빛나다 / 뱅글뱅글² 돌다 / 번쩍¹ 깨다
 번쩍² { 눈물 } 뜨다 / 번쩍¹ { 정신이 } 들다 / 번쩍¹ { 번개가 } 치다 / 부글부글 끓이다
 부글부글 { 소리 } 나다 / 부글부글 가라앉다 / 부들부들² 하다 / 부들부들¹ 떨다
 부들부들¹ 떨리다 / 불끈불끈 솟다 / 불쑥 내밀다 / 뺑 차다 / 뺑 차다
 뺑뺑 차다 / 사각사각 값다 / 살짝¹ 보다 / 살짝¹ 비키다
 살짝¹ 엿보다 / 살짝¹ 대다 / 스르르 다가가다 / 스르르 멈추다 / 스르르 내려오다
 스르르 뺨다 / 슬슬¹ 시작하다 / 슬슬² { 배가 } 고프다 / 슬슬¹ 돌아가다
 싹² 쓸어 올리다 / 싹둑싹둑 자르다 / 싹³ 빼다 / 싹³ 넣다 / 싹싹 자라다 / 싹싹 끌어당기다
 싹 살피다 / 싹 핥다 / 싹싹 닦다 / 우르르¹ 모이다 / 우르르¹ 쏟아지다
 우르르¹ 걷다 / 우르르¹ 나가다 / 줄줄 쫓아다니다 / 콧콧 내리다 / 주르르 미끄러지다
 주르르 내려오다 / 줄줄 흐르다 / 줄줄 흘리다 / 축³ 걸리다 / 축³ 처지다
 축³ 늘어뜨리다 / 팡 떨어지다 / 팡 치다 / 팡 부딪히다
 팡팡 치다 / 쿵² 떨어지다 / 쿵² 쓰러지다 / 쿵쿵 { 소리 } 나다
 탁¹ 치다 / 탁탁² 떨다 / 탕² 단다 / 탕탕 치다 / 퍽⁵ 가다 / 퍽⁵ 넘다
 퍽⁵ 막아서다 / 퍽⁵ 멈춰서다 / 퍽⁵ 서다 / 퍽⁵ 썩워주다
 퍽⁵ 열다 / 톡톡² 하다 / 톡² 떨어뜨리다 / 톡톡 두드리다 / 톡² 끊다 / 톡² 떨어지다
 톡² 치다 / 톡² 끊어지다 / 톡² 튀다 / 톡톡¹ 치다 / 파르르 떨다 / 팍¹ 밀치다 / 팍¹ 주다
 팍¹ 치다 / 팍¹ 패대기치다 / 팍¹ 떠지다 / 팍¹ { 소리 } 나다 / 팍¹ 열리다 / 팍팍¹ 밀어주다
 팍팍¹ 뺨다 / 팍팍¹ 지원하다 / 팡¹ 내리꽂다 / 팡¹ 치다 / 팡팡¹ 치다 / 팡팡¹ 터뜨리다
 팡팡¹ 터지다 / 펍¹ 가격하다 / 펍¹ 때리다 / 펍¹ 치다 / 폭¹ 감싸다 / 풍당 뛰어들다
 폭¹ 숙이다 / 폭¹ 쉬다 / 폭¹ 자다 / 풍덩 던지다 / 풍덩 뛰어들다
 풍덩 떨어지다 / 폭¹ 빠지다 / 펍¹ 쓰러지다 / 허둥지둥 당황하다
 허둥지둥 일어나다 / 확² 걷어차다 / 확² 당기다 / 확² 끌어당기다
 확² 낚아채다 / 확² 노려보다 / 확² 달라지다 / 확² 댔다
 확² 돌아서가다 / 확² 끌어안다 / 확² 뺨다 / 확² 뿌리치다 / 확² 쏟아지다 / 확² 열다
 확² { 열 } 받다 / 확² 잡아 끌다 / 확² 제려보다 / 확² 튀다 / 확² { 꽃 } 피다 / 확² 댔치다
 확² 띄다 / 활짝 { 미소 } 짓다 / 활짝 웃다 / 후다닥 가다 / 후다닥 내려가다
 획 가다 / 획 나가다 / 획 노려보다 / 획 당기다 / 획 던지다
 획 돌아서다 / 획 들어 올리다 / 획 쓰러지다 / 획 타다 / 획 따다
 획 날다 / 획 붙다 / 획 잡다 / 흔들흔들 흔들리다

4.3. 翻訳本を活用した擬声語・擬態語の授業の教授模型

本節では、翻訳本の擬声語・擬態語の選定を基に、適切な教授模型を提示する。김윤경 (2010:14) は、初期段階で学習者に興味を与え、学習者が‘象徴副詞+用言’の形でコロケーションとしてのアプローチを提示している。すなわち、容易なゲームを取り入れ、学習段階が高まるにつれて、文脈を活用してゆくという教授法である。指導内容は次のように示されている。コロケーションの学習に活用できるコロケーション認識 (noticing)、コロケーションボックス (collocation box)、コロケーションのマッチング (matching collocation pairs), コロケーションの格子、間違った部分の修正 (correction game), 辞書の活用 (dictionary use), コロケーションの分類 (sorting collocation), コロケーションの意味マッピングの作成 (collocation semantic mapping), コロケーションの拡張等である。배현숙 (2006) は、擬声語・擬態語の教育の順序を提示している。第一、音節、子音と母音との対立による語感の差を認知させる。第二、形態の認知後、動作模倣等の授業活動を通して単語の意味を確認させる。第三、子母の対立、平音、有気音、硬音の対立が持つ意味の区別及び状況の区別のため、絵の資料を用いて、文脈の動作の状況、背景を提示する。第四、反復練習を通じて、意味と形態の関係を確実に習得させる。第五、語彙を直接使ってみる童話の読み聞かせを提供する。

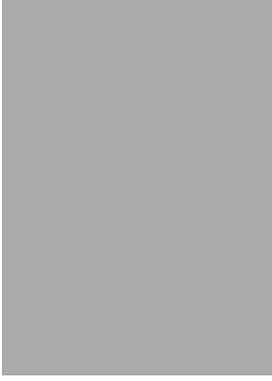
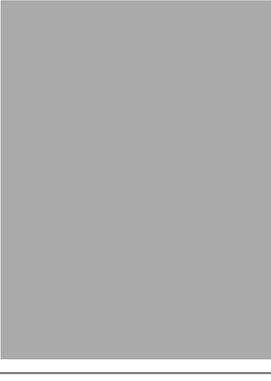
この教育方法を基に、PPP^{xv} 授業の模型を土台に教授案を作る。PPP 模型に関して、Skehan (1996) は、授業の目標が明確となり、評価の内容を決めるのが容易になり、授業の設計が持ちやすい、と

述べている(양소영 2005:5再引用)。PPP模型の学習が段階別に示すと次のようになる。提示段階では、学習者が授業の目標になる言語の項目に興味と関心を持ち集中できるように、絵の資料や映像の資料等を用いて、学習者に学習の内容を予測させ期待感を持たせる。文脈の中で短い例文、聴解の資料を通して目標語の項目を導入して、意味と規則を説明する。練習段階では、形態に焦点を当てて、コントロールされた反復の練習をする。留意的な練習を通して学習者が目標語の項目を正確に理解し内在化できるように手助けをする。使用段階では、自然な発話の状況の中で、目標語の項目を有意義に使用するために課題やロールプレイなどに取り組みせ、流暢性の発達を促す(韓国語教育辞典 2013:979~980)。

4.3.1. PPP 教授模型の「提示段階」

漫画に出てくる‘擬声語・擬態語+用言’の形を提示する際、学習しにくい擬声語・擬態語を、漫画の絵と翻訳された語彙を見ることによって、それらの擬声語・擬態語を推測することが容易になる。好きな人を見て、‘두근두근’ときめかす心を表す絵と翻訳された文字を確認しながら‘두근두근’の言葉を学ぶことが出来、後ろに叙述する‘떨리다’を見て、共起関係を学ぶことができる。‘擬声語・擬態語+用言’の形態のみならず、擬態語の母国語で訳されたパターンを通して、理解が進む。

만화 제시					
그림을 보고 어울리는 문장을 찾아 보세요.					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">① [가슴]이 + 두근두근 + 떨리다 () [胸] が + ドキドキ + する</td> <td style="padding: 5px;">③ {눈} + 확 + 띄다 () (目立つ)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">② {큰소리} + 뽕뽕 + 치다 () (言うことが大きい)</td> <td style="padding: 5px;">④ 깜빡 + 잠이 들다 () 난데 + 寝る</td> </tr> </table>	① [가슴]이 + 두근두근 + 떨리다 () [胸] が + ドキドキ + する	③ {눈} + 확 + 띄다 () (目立つ)	② {큰소리} + 뽕뽕 + 치다 () (言うことが大きい)	④ 깜빡 + 잠이 들다 () 난데 + 寝る	
① [가슴]이 + 두근두근 + 떨리다 () [胸] が + ドキドキ + する	③ {눈} + 확 + 띄다 () (目立つ)				
② {큰소리} + 뽕뽕 + 치다 () (言うことが大きい)	④ 깜빡 + 잠이 들다 () 난데 + 寝る				
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; background-color: #cccccc; margin-bottom: 5px;"></div> <p>가.</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; background-color: #cccccc; margin-bottom: 5px;"></div>				
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; background-color: #cccccc; margin-bottom: 5px;"></div> <p>나.</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%; background-color: #cccccc; margin-bottom: 5px;"></div>				

다.		
라.		

위의 만화를 보면서 어떠한 내용인지 친구와 함께 이야기 해 보세요.

드라마의提示の段階では、場面の状況と共に文脈を提示する。映像を通して擬声語・擬態語を類推することが出来、括弧の中に擬声語・擬態語を埋めることができる。この際、学習者に配布する擬声語・擬態語の台本には、日本語の翻訳も書かれているので、翻訳のパターンを観察することもできる。下記の映像はシスターの服を着ているミニョの姿をエンゼルスファンが見て評価する場面である。この場面を‘확 된다’という擬声語・擬態語が、日本語では‘すごく目立っている’という表現で訳されているパターンを見ることができる。翻訳本の擬声語・擬態語が一对一の対応ではなく、語彙等で表されるパターンも見ることができるのである。

드라마 제시	
1. 다음을 드라마의 영상을 보고 ()에 알맞은 의성어・의태어를 쓰세요. 드라마 영상 보여 주기	
	

(미녀 건물 쪽으로 다가가는데 건물 앞에 늘어서 플래카드 들고 있는 A.N.JELL 팬들. 팬클럽 <엔젤스> 회장인 사유리도 있고, 큰 천사 날개를 맨 팬들도 있다. ミニョ、建物の方に近づいていくと、建物の前に並んでボードを持っている A.N.JELL のファンたち。ファンクラブ〈エンジェルズ〉の会長サユリや、大きな天使の羽を着けたファンもいる。)

미녀: 어머, 여러분들은 천사로군요. (あら、みなさんは天使なんですね。)

사유리: (살짝 놀라서) 그쪽은 수녀님이네. 설마 진짜?

(少し驚いて) あんたはシスターね。まさか本物?

미녀: 아 아닙니다. 전 아직 정식 수녀는 아니랍니다. いえ。まだ正式には…。

사유리: 아~ (위 아래로 보고) ふ〜ん。(上から下まで見て)

야 너 진짜 1) 확 된다. 아이디어 짱이네.

(あんた、すごく目立っている。アイデア最高よ。)

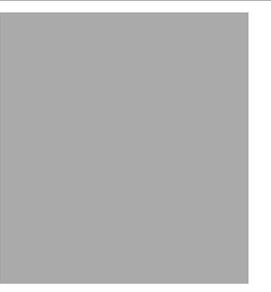
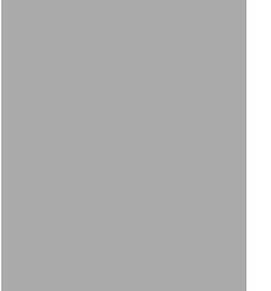
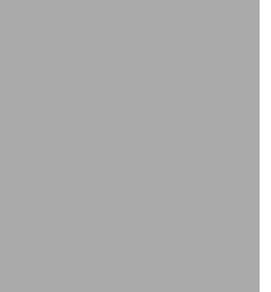
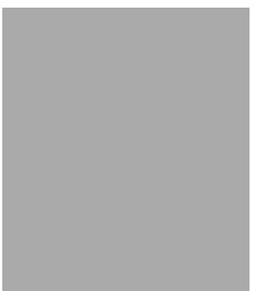
童話での擬声語・擬態語は、物語の文脈の中で、語彙の用例と絵と共に提示する。童話の絵と例文を並行して提示し聞かせることによって文脈を類推することが出来る。同時に翻訳のパターンも学習できる。

동화 제시

- (1) 원숭이가 뒤돌아보니 큰 주먹밥을 든 게가 1)(생긏생긏 웃으며) 서 있었습니다.
 さるがふり返ると、大きいおにぎりを持ったか(1) にこここ笑いながら立っていました。
- (2) 게는 매일 노래 부르며 물을 주었기 때문에 감나무는 2)(쑹쑹 자라) 마침내 빨간 열매를 맺었습니다.
 かには毎日歌いながら水をやりましたから、木は2) ぐんぐんのびてやがて赤い実をつけました。
- (3) 게는 기뻐하며 감을 따려고 했습니다만, 3)(미끄미끄 미끄러지기만) 할 뿐, 나무에 오를 수가 없었습니다.
 かには喜んで柿の実をとろうとしましたが、3) つるつるすべるばかりで木に登ることができません。
- (4) 마음씨 고운 게는 원숭이에게도 감을 나누어 주기로 했습니다. 그러자 원숭이는 4)(칙칙 나무에 올랐습니다.)
 優しいかにはさるにも柿を分けてあげることにしました。するとさるは4) スルスルと木に登りました。
- (5) 원숭이는 5)(우적우적 감을 먹기 시작했습니다.)
 さるは5) むしゃむしゃと柿を食べ始めました。
- (6) 원숭이의 집에 도착하자 벌이 6)(붕~하고 날아) 창문으로 안의 상황을 살피고 말했습니다.
 さるの家に着くとはちが6) プーンと飛んでまどから中の様子をうかがっていました。
- (7) 그러자, 그 안에 있던 밤이 7)(딱 하고 날아올라) 원숭이의 눈에 재를 던졌습니다.
 すると、その中にいた栗が7) パチンと飛び上がってさるの目に灰を投げました。
- (8) 그러자 벌이 8)(붕~하고 날아와) 원숭이의 새빨간 엉덩이에 푹 하고 침을 찔렀습니다.
 すると、はちが8) プーンと飛んできて、さるの真っ赤なお尻にぶすつと針をさしました。
- (9) 그때, 나무덩굴이 9)(스르르 뻗어와) 원숭이의 다리를 걸었습니다. 원숭이는 입구에서 좌당하고 나동그라지고 말았습니다.
 その時、木のつたが9) スルスルとのびてさるの足を引っ掛けました。さるは戸口でバタンとこけてしまいました。

4.3.2. PPP 教授模型の「練習段階」

練習の段階では、文章の状況を提示し擬声語・擬態語の練習が出来るようにする。漫画の練習段階では、擬声語・擬態語が後続する叙述語の共起関係がわかるように絵を見てつなげる学習をする。(1)の例文は一对一のパターンで訳されたものなので分かりやすい。(2)~(3)の例文は、韓国語には擬声語・擬態語が表れるが日本語には表れない例文を通して、学習者が翻訳のパターンに省略があるということを知ることができる。

만화 연습	
1) 다음은 의성어・의태어와 자주 공기하는 서술어에 선을 그어 보세요.	(1) 두근두근 (ドキドキ)* *떨리다 (する)
	(2) 뽕뽕 (Ø 일본어 표기 없음)* *치다 (言うことが大きい)
	(3) 확 (Ø 일본어 표기 없음)* *띄다 (目立つ)
	(4) 감빡 (なんで)* *잠이 들다 (寝る)
	

2) 위의 그림과 짝 지어진 의성어・의태어 + 용언을 완성된 문장으로 만들어 보세요.

1	
2	
3	
4	

드라마의練習段階では、実際のドラマから出てくる擬声語・擬態語が母国語に翻訳されたパターンをマスターできる。生き生きとした会話練習と聞き取り練習が出来る。また、語彙を拡張して、翻訳本に出てくる‘擬声語・擬態語+用言’の形を用いた文章を作ることができる。(1)の例文では、主人公の会話を通じて、キラキラ輝く存在がテギョンだということも察することも出来るし、一対一のパターンで翻訳されたことにも気がつく。(2)の例文は、‘胸がズタズタに引き裂かれる’という形で一対一のパターンで翻訳されている。‘갈기갈기 찢다’は、‘[마음], [옷] + 찢다’で用いられている。‘ズタズタ’は‘[紙], [布], [肉], [体] + 引き裂く, 切る, ちぎる’で表わされている。もう一つの用法では、‘[心]+ 傷つく’で使われ、目には見えない心と目に見える紙や布等が破れる状態を表している((阿万田稔子・星野和子 1995: 232~233))。 (3)の例文はジェルミがラジオ放送に出演して歌を歌う場面だが、歌の歌詞に‘콩닥콩닥 뛰다’という表現が‘ドキドキする’で一対一に翻訳されている。(4)の例文は、‘꼭 잡다’が日本語には‘しっかりつかまる’という一対一で翻訳されたパターンとなっている。韓国語の‘꼭’は、[공간에 대상]+잡다, [물체], [신체]+차다, [신체], [물체]+누르다, {숨}, {코}, [생각], [물체] + 막히다 等に分けられる。一方、日本語の‘しっかり’の用法は三つに分けられる。一つは、[紐・家具・建物] + [結ぶ, 縛る, 組み立てる, 作る, 建てる] で、結合、組み立て、張り合わせが堅固で緊密である様子を表す。二つ目は、[人・考え・家庭・意識] + {している} で人物、考え、気力などに不健康なところがなく、充実していて信頼のおける様子を表す。三つ目は、[食料・お金・物資] + [蓄える, 用意する, 備える], {食べ物}+{味をつける}に分けて使う用法である(阿万田稔子・星野和子 1995: 196~198)。このように韓国語に該当する日本語の‘擬声語・擬態語+用言’の使い方には、若干の違いがある。

드라마 연습

1. 다음 드라마를 보면서 괄호 안을 채우고 대화를 해 보세요.

반짝반짝 빛 (이) 나다 (キラキラ輝く), 갈기갈기 찢기다 (ズタズタに引き裂かれる), 콩닥콩닥 뛰다 (ドキドキする), 꼭 잡다 (しっかりつかまえる)

(1)

미녀: 아프리카에도 별이 많겠죠? (2卷-p.303)

(アフリカにも星はたくさんありますよね?)

태경: 너 거기 꼭 가야 되냐?

(おまえ、どうしても行かないといけないのか?)

미녀: 잘 다녀오겠습니다. 기다리고 계십시오.

(ちゃんと帰ってきますから。待っていてください。)

태경: 너 거만해졌다. (おまえ、高飛車になったな。)

하늘에서 제일 멋있고 1)(반짝반짝 빛나는) 별을 두고 가는 게 아쉽지 않아?

(一番かっこよくてキラキラ輝いている星を置き去りにしていくの、惜しくないのか?)

미녀: 그렇다구 제가 황태경 씨를 데려갈 순 없잖습니까?

(だからってファン・テギョンさんを連れてはいけませんか?)

(2) (약수터에서 배드민턴하는 장면湧水の出る所でバドミントンをする場面) (2卷-p.117)

제르미: 스매슈!

(スマッシュ!)

태경: (중얼) (ぶつぶつ)

2) (갈기갈기 찢어질 건) 나중이고, 당장은 괜찮다.

(胸がズタズタに引き裂かれるのは先のことで、今はうれしいってか。)

멍청한 돼지토끼.

(マヌケなブタウサギめ。)

제르미: 원, 투, 스매슈! (1, 2,スマッシュ!)

(3) DJ: 아이아이아이 아니에요~ (またあ、そんなことないですよ。) (2卷 p.210)

정말 즐겁고 좋은 말이 될 겁니다.

(本当に楽しくてうれしい言葉になるはずですよ。)

“참 좋은 말” 들려주세요. ([本当にいい言葉]、お願いします。)

제르미: 사랑해요 이 한마디 참 좋은 말

(愛してます この一言 本当にいい言葉)

우리 식구 자고 나면 주고받는 말

(我が家では朝起きたらかけ合う言葉)

사랑해요 이 한마디 참 좋은 말

(愛してます この一言 本当にいい言葉)

제르미도 그 애한테 주고 싶은 말

(ジェルミもあの子に捧げたい言葉)

이 말이 좋아서 온종일 일맛 나지요.

(本当にいい言葉だから 一日中元気が出て)

이 말이 좋아서 온종일 일맛 나지요.

(本当にいい言葉だから 一日中仕事が頑張れて)

이 말이 좋아서 온종일 가슴이 3)(쿵닥쿵닥 뒹대요.)

(本当にいい言葉だから 一日中胸がドキドキするんだ)

사랑해요 이 한마디 참 좋은 말

(愛してます この一言 本当にいい言葉)

나는 나는 이 한마디가 정말 좋아요

(僕は僕は この一言が 本当に大好き)

사~랑 사~랑해요.

(愛~愛~しています)

(4)태경: 고미남! 4)(꽉 잡아!)(ミナム!しっかりつかまってる。)(1卷 p.82)

꽉 잡으라고 임마! 차 세워 ~! 야~! (しっかりつかんでろよ! 車止めろ。おい!)

미남: 황태경씨...황태경씨! (ファン・テギョンさん... ファンテギョンさん~!!)

태경: 고미남 잡고 있어! (コ・ミナム、つかんでろ!)

세워줄 테니까 잘 잡아!! (止めてやるから、ぎゅっとつかめ!!)

꽉 잡아! 야~!!! 고미남 ~!!! 차 세워 ~!!! 야~!!!

(いいな! おい! コ・ミナム~!! 生まれ! おい!)

2. 번역본의 어휘 확장을 보면서 문장을 완성해 보세요.

1) 폭 [번역된 ‘폭’ 의 어휘 확장]

폭	{한숨}+내쉬다ため息をつく
ゆっくり /	[사람]+쉬다やすむ
ぐっすり /	[사람]+자다寝る
ずっと	[사람]+빠지다みとれる
생략	{머리}+숙이다うつむく

일이 많아서 (폭 한숨을 내쉬었다.)

☞ 仕事が多くてため息をついた。

친구는 머리를 (폭 숙이고) 미안하다고 했다.

- ☞ 友達は頭をずっとうつむいてすまないと言った。
친구는 남자 친구에게 (폭 빠져있다.)
- ☞ 友達は彼氏にみとれている。
여름 휴가 동안 (폭 쉬어서) 기분이 좋다.
- ☞ 夏休みの間ゆっくり休んでいたので気分がいい。
오랜만에 (폭 잤다.)
- ☞ 久しぶりにぐっすり寝た。

童話での練習は、実際の資料を活用して、リーディングの練習に取り組む。文脈の流れを通して文章の中に擬声語・擬態語を入れてみながら語彙を拡張することが出来るようになる。童話を読み聞かせる際には童話の動画や童話の本を直接見せながら聞かせる。この際、学習者は母国語が表記されたプリントを観ながら括弧の中に‘擬声語・擬態語+用言’の形を埋めていく。翻訳をつけたのは学習者の理解と語彙の学習のためにどう訳されるのかのパターンを見せるためである。下記の例文(1)~(8)では、‘擬声語・擬態語+用言’はすべて一対一のパターンで、文脈を通して‘擬声語・擬態語+用言’を類推できる。次に、童話から聞いて書いた‘擬声語・擬態語+用言’をビンゴゲームを通して語彙の拡張を図る。このビンゴゲームの用紙の裏には翻訳された擬声語・擬態語が表記され、学習者が語彙を覚えるように指導する。

동화 연습
<p>1. 다음은 동화의 「さるかに合戦 원숭이와 게의 싸움」 ‘의성어・의태어+ 용언’ 입니다. 읽고 밑줄 친 부분을 읽고 다음에 제시된 ‘의성어・의태어+ 용언’ 을 괄호 안에 채워 보세요.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>생긱생긱 웃다, 썩썩 자라다, 미끌미끌 미끄러지다, 척척 오르다, 우적우적 먹다, 붕 날다, 딱 날아오르다, 스프르 뻥다</p> </div> <p>원숭이가 뒤돌아보니 큰 주먹밥을 든 게가 1) (생긱생긱 웃으며) 서 있었습니다. さるか降り返ると、大きいおにぎりを持ったかにかが1) にこにこ笑いながら立っていました。 “ 빨리 썩을 퇴위라. 감 씨야. 천천히 자라면 집게발로 잘라 버릴 거야! 썩둑. 썩둑. 썩둑둑.” 「早く芽を出せ、柿の種。ゆっくりしてるとハサミで切っちゃうぞ! チョッキン. チョッキン. チョッキンキン.」 “ 빨리 맛있는 감이 먹고 싶구나” 「早くおいしい柿が食べたいな.」 게는 다음 날에도 마당에 나와 집게발을 썩둑썩둑거리며 또 노래 불렀습니다. かには次の日も庭に出て、ハサミをチョコキチョコキサせながら、また歌いました。 “ 빨리 나무가 되어라, 큰 나무가 되어라. 천천히 자라면 집게발로 잘라 버릴 거야! 썩둑. 썩둑. 썩둑둑.” 「早く木になれ、大きい木になれ。ゆっくりしてるとハサミで切っちゃうぞ! チョッキン. チョッキン. チョッキンキン.」 게는 매일 노래 부르며 물을 주었기 때문에 감나무는 2) (썩썩 자라) 마침내 빨간 열매를 맺었습니다. かには毎日歌いながら水をやりましたから、木は2) ぐんぐんのびてやがて赤い実をつけました。 “ 와~, 맛있을 것 같은 열매가 많이 열렸네.” 「わあ、おいしそうな実がたくさんなった。」 게는 기뻐하며 감을 따려고 했습니다만, 3) (미끌미끌 미끄러지기만) 할 뿐, 나무에 오를 수가 없었습니다. かには喜んで柿の実をとろうとしましたが、3) つるつるすべるばかりで木に登ることができません。 마음씨 고운 게는 원숭이에게도 감을 나누어 주기로 했습니다. 그러자 원숭이는 4) (척척 나무에 올랐습니다.)優しいかにはさるにも柿を分けてあげることにしました。するとさるは4) 스스르르木に登りました。 “ 정말 맛있을 것 같네. 게한테 주기에는 아까워. 전부 먹어 버려야지.” 「本当においしそうだな。かにはやるのはもったいない。全部食べてしまおう.」 원숭이는 5) (우적우적 감을 먹기 시작했습니다.)</p>

сар는 5) むしゃむしゃと柿を食べて始めました。
 “원숭이야, 빨리 내려와! 원숭이야!” 게는 몇 번이나 원숭이를 불렀습니다.
 「сарさん、早く降りてきてよ! 사르さん!」かには何度もсар를呼びました。
 원숭이가 던진 감은 게의 등딱지에 맞아, 불쌍한 게는 죽고 말았습니다. 그것을 본 원숭이는 큰일이라 여겨 산으로 도망쳐 버렸습니다. 사르가投げた柿はかのに甲羅に当たり、かわいそうなかには死んでしまいました。それを見たсарは大変だと思って山へ逃げてしまいました。
 새끼 게들에게 사정을 들은 벌은 불같이 화를 냈습니다.
 子がにたちに事情を聞いたはちはかんかんに怒りました。
 원숭이의 집에 도착하자 벌이 6) (붕 ~ 하고 날아) 창문으로 안의 상황을 살피고 말했습니다.
 사르의家に着くとはちが 6) ブーンと飛んでまどから中の様子をうかがっていました。
 그러자, 그 안에 있던 밤이 7) (딱 하고 날아올라) 원숭이의 눈에 재를 던졌습니다.
 すると、その中にいた栗が 7) パチンと飛び上がってсарの目に灰を投げました。
 그러자 벌이 8) (붕 ~ 하고 날아와) 원숭이의 새빨간 엉덩이에 푹 하고 침을 찔렀습니다.
 すると、はち가 8) ブーンと飛んできて、сарの真っ赤なお尻にぶすと針をさしました。
 그때, 나무덩굴이 9) (스르르 뻗어와) 원숭이의 다리를 걸었습니다. 원숭이는 입구에서 과당하고 나동그라지고 말았습니다.
 その時、木のつたが 9) スルスルとのびてсарの足を引っ掛けました。
 사르는戸口でバタンとこけてしまいました。
 “으악~, 그만둬!” 「ギャー、やめてくれ!」
 절구는 지붕 위에서 원숭이의 몸에 얇 하고 뛰어내렸습니다. “으악~!”
 臼は屋根の上からсарの体にえいと飛び降りました。「ギャー!」

2. 빙고 게임을 해 봐요. (뒷면에는 일본어 번역이 써져 있다.) 두 사람씩 짝 지어서 빙고 게임을 해 보세요.

【A】

쿨쿨 (구구구)	느릿느릿 (의의의)	깜짝 (びっくり)	(귀가) 쫄쫄쫄 (耳がびくびく)
벌벌 (오도오도)	하하하 (うははは)	영영 (わーんわーん)	생긱생긱 (にこにこ)
쭈쭈 (ぐんぐん)	미끌미끌 (つるつる)	우적우적 (むしゃむしゃ)	붕 (ブーン)
딱 (바치)	반짝반짝 (キラキラ)	갈기갈기 (ズタズタ)	쿵닥쿵닥 (ドキドキ)

【B】

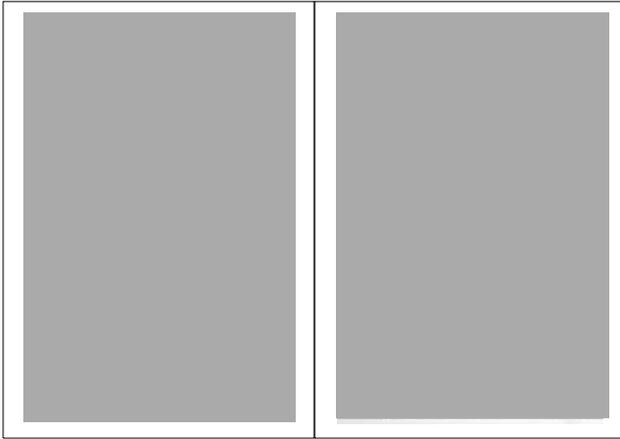
(낮잠을) 자다 (昼寝をする/寝る)	가다 (出る)	놀라다 (する/驚く)	움직이다 (動く)
떨다 (する)	웃다 (笑う)	울다 (泣く)	웃다 (笑う)
자라다 (のびる)	미끄러지다 (すべる)	먹다 (食べる)	날다 (飛ぶ)
날아오르다 (飛び上がる)	빛나다 (輝く)	찢기다 (引き裂かれる)	뛰다 (する)

4.3.3. PPP 教授模型의 「使用段階」

使用的段階では、語彙を学習して学習者の理解を深めることに焦点がある。韓国語の擬声語・擬態語 ‘큰소리 + 뽕뽕 + 치다’가、日本語では ‘言うことが大きい’, ‘깜짝 + 잠이 들다’가、‘なんで寝ちゃんたんだろ’と、‘확 + 띄다’가 ‘すごく目立つ’という語彙に交替しているパターンが見られる。擬態語が存在する漫画の場面で、学習者が翻訳された漫画の絵を見ながら類推してみるように促す。学習者が作れない場合には、漫画に出てくる会話の例文を提示して、会話を直接作るように指導する。

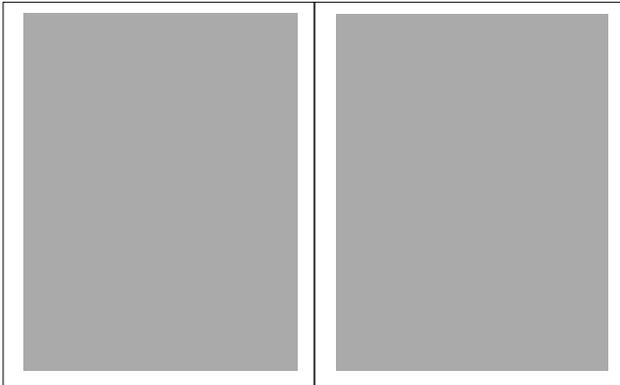
만화 사용
다음은 번역본의 만화를 보고 의성어・의태어를 사용하여 이야기를 해 보세요.
큰 소리 + 뽕뽕 + 치다 (言うことが大きい), 깜짝 + 잠이 들다 (なんで寝ちゃんたんだろ), 확 + 띄다 (すごく目立つ)

(1)



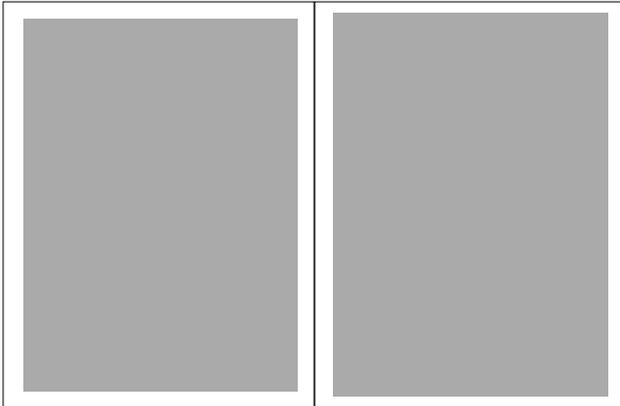
(『노다메』 1-175 큰 소리 뽕뽕치고) (『のだめ』 1-173 言うこと大きくて)

(2)



(『노다메』 3-17 깜빡 잠이 들다) (『のだめ』 3-15 なんて寝る)

(3)



(『노다메』 5-42 눈에도 확 띄고) (『のだめ』 5-40 目立つし)

(1)

미네 : … 좋겠수 . 노력하지 않고도 거저 얻으니… . 큰 소리도 뽕뽕치고 .

(… いいよな . 努力しないでも報われてる奴は… .) (言うことが大きくて)

치야키 : 하아 ~? (はあ ~ ~ ~ ?)

말해 두는데… 난 바이올린도 그렇고 피아노도 그렇고 3 살 때부터 계속해왔어 .

(言っておくけどオレ… ヴァイオリンもピアノも3歳の時からず ~ ~ ~ とやってたんだぞ)

특히 바이올린은 대학에 오기 전까지 아침부터 밤까지 연습했지 .

(特にヴァイオリンは大学に入るまでそれこそ朝から晩まで)

피를 토할 정도로. 엄한 선생님이었니까.
(血へどが出るくらい) (厳しい先生だったしな)

미네 : 액…?
(えっ……)

(2)

아버지 : 미네! 미네! 일어나
(龍! 龍っ 起きな!)

뜨거운 커피 갖다 줄까? (熱いコーヒー入れてやろうか?)

미네 : 으응 ~~~? (んあ~?)

노다메 : 하아 ~~~? (もが~?)

미네 : 이런…깜빡 잠이 들었나봐. (やべ……なんで寝ちゃんたんだろう!?)

노다메 : 노다메도-. (のだめもー)

갑자기 잠이 와서…. (急に睡魔が……)

교과서의 마력이 분명해. (教科書の魔力ですネ)

(3)

학생 1 : 그나저나 멋있는지 아닌지는 둘째치고 꽤 괜찮은 것 같아.
(でも、かっこいいかは別にしてなかなかいいかもな)

학생 2 : 이거. 눈에도 확 띄고
(これ、目立つし)

ドラマから出てくる‘擬声語・擬態語+用言’を用いて、ロールプレイに挑戦してみる。会話の状況を見て聞いた内容を基にして、学習者がドラマの中の人物になり、役割を演じる。ドラマの中で表れた擬声語・擬態語を通して、生き生きとしたリズム感と実際的な表現を学ぶのに役に立つ。(1)の‘반짝반짝거리다’は、‘きらきら 輝く’の一对一パターンで翻訳された。‘반짝반짝’は‘{눈}, {별}, {불빛}, [금속]+ 빛나다’の形で表れる。日本語の‘きらきら’は、‘{星}, {宝石}, {ガラス}, {金属}, {液体}, {目}+ 輝く/する’の形で表れるが、韓国語の‘반짝반짝’の用法と同じである。(2)の‘깜짝 놀라다’は、日本語では‘びっくりする’で、一対一対応と擬声語・擬態語が省略されている。‘깜짝’は、‘[사람], [동물]+ 놀라다’の形で表れる。日本語の‘びっくり’も韓国語の‘깜짝’と同一な形をとる動詞の‘驚く’を用い、‘擬声語・擬態語’を省略する場合がある(飛田良文・浅田秀子 (2002: 451))。(3)の‘따끔따끔하다’は、‘ヒリヒリする’で一対一に翻訳されている。‘따끔따끔’は、‘{햇살}+ 내리쬐다’, ‘{상처}, [마음]+ 아프다’の形態を取っている。日本語の‘ヒリヒリ’は、‘[体], {傷}+ 痛い’, ‘[食べ物], [香辛料]+ 辛い’, ‘[薬品], {煙}+ 刺激する/痛い’の形をとるが、韓国語の‘따끔따끔’と違う点は、‘ヒリヒ리’が、‘[食べ物], [香辛料]+ 辛い’に使われる点である。母国語の日本語と韓国語の‘擬声語・擬態語+用言’の形の相違点を学習者達が簡単に近づくことのできる漫画翻訳本によって教授するならば、学習者の負担を減らすことができるだろう。(4)の‘푹 자다’は、‘ぐっすり寝る’で、一対一の対応パターンが生じている。(5)の‘뽕 날아가다’は、‘舞い上がる’で、擬声語・擬態語が省略されている。‘쿵 치박히다’は、‘ドスンと落ちる’で、擬声語・擬態語が一对一のパターンで表れる。‘쿵’は‘[공간]+ 넘어지다/박다’, ‘[물건]+ 떨어지다’, ‘[가슴]+ 내려앉다’の形で表れる。これに対して、日本語の‘ドスン’は、‘[人], [物]+ 音をたてる, 落ちる, ぶつかる’で表れる(阿万田稔子・星野和子 1995: 319)。「뽕팡 터지다」は、「花火が上がる」で名詞に代えられたパターンである。

上記の使用段階で表れた‘擬声語・擬態語+用言’の形は、学習者が直接状況を設定し、ロールプレイをしなければならない状況なので、母国語に訳された擬声語・擬態語のパターンをつかむことに

効果があると思われる。なぜなら母国語では使われない語が、韓国語では擬声語・擬態語が表れるからである。ドラマから表れた‘擬声語・擬態語+用言’を使い、ロールプレイをしてみることで語彙を作り出し、それらを実際の生活場面でも用いることが出来ると考えられる。

드라마 사용	
반짝반짝거리다, 깜짝 놀라다, 따끔따끔 하다, 폭 자다, 붕 날아가다, 쿵 처박히다, 팡팡 터지다	
(1)	<p>태경: 그래도 달이 쓸모 없는 건 아니야. (だけど、月が役立たずってわけじゃない。) 어쨌든 밤에 다른 별들이 많다고 해도 내 눈엔 달밖에 안 보여. (いくら夜空に星がいっぱいあっても、俺の目には月しか見えないからな。)</p> <p>미남: (태경 바라보다가) ...형님. (테ギョンを見つめて) ...테ギョンさん. 저두 지금... (私も今...) 특별한 별 하나밖에 보이지 않습니다. (特別な星一つしか見えません...)</p> <p>태경: 뭐? (안 보이지만 하늘 보며) (何だと? (見えないが空を見上げながら)) 별 되게 많다면? (星がいっぱいあるんだろ?)</p> <p>미남: (태경) 보며 되게 많은데... (테ギョンを見て) (たくさんありますけど...) 어떤 별 하나가 너무 멋있게 자꾸 반짝반짝거리려서... (ある星だけがとてきれいにキラキラ輝いていて...) 자꾸 그 별만 보게 됩니다... (その星だけに目がいってしまいます...)</p> <p>태경: 그런 별이 있어? (そんな星があるのか?)</p> <p>미남: 예. 아주 많은 사람들이 좋아해주는 별입니다. (はい。多くの人に好かれている星です。) 저도 그 많은 사람 중에 끼어서 그 별을 좋아해도 죄가 되지 않겠죠? (私も、その人たちのようにその星を好きになっても、罪にはなりませんよね?)</p>
(2)	<p>제르미: 형! 고미남 놀래키지 마! (シヌさん! コ・ミナム驚かすなよ!) 고미남, 너가 졸리 잡구 가, 가자. (コ・ミナム、お前がジョリーを連れていけよ。行こう。)</p> <p>신우: (중얼) 갑자기 너무 놀래켰나? (つぶやく) (いきなりすぎたかな。) 앞으로 더 놀라게 할 건데. (따라간다) (これからもっと驚かせるつもりなんだけど。(ついていく))</p> <p>태경: 아~ 이, 되게 깜짝 놀랐네. (ああ、びっくりした。) 잠깐, 내가 왜 고미남 때문에 깜짝 놀래야 돼? (待ってよ、なんで俺がコ・ミナムのことで驚いてんだ?)</p>
(3)상황 (미남 식탁 의자에 앉히고 눈에 식염수 넣어주는 태경)	<p>(ミナムを食卓の椅子に座らせ、目に食塩水を入れるテギョン。)</p> <p>태경: 이제 좀 괜찮아? (少しはましになったか?)</p> <p>미남: 으으...깜빡깜빡 눈 얇게 뜨며 (目をパチパチさせながら細目で) 아직 따끔따끔하고, 눈 뜨기가 힘듭니다. (まだヒリヒリして、目がちゃんと開けられません。)</p> <p>태경: 그냥 눈 뜨지 말고 그대로 방에 가서 자. (目を開けないで、そのまま部屋に帰って寝ろ。)</p> <p>미남: 예...감사합니다. (はい...ありがとうございます)</p>
(4)영화관 일각 (하품하면서 테라스에 나온 미남과 태경. 예쁜 야경 보인다.)	<p>(映画館の一角) (あくびをしながらテラスに出てきたミナムとテギョン。きれいな夜景が見える。)</p> <p>미남: 두 시간 동안 폭 잤더니 정말 개운합니다. (二時間ぐっすり寝たら、すっきりしました。)</p> <p>영화는 재밌었습니다가? (映画はおもしろかったですか?)</p> <p>태경: 뭐, 나쁜진 않았어. (まあ、悪くはなかった。)</p>

(5)상황 (태경에 대한 솔직한 마음을 술 김에 다 털어놓는 미녀.)
 (테기ョンに対する本心を、酔った勢いで打ち明けるミニョ.)
 미녀 : 수녀원에서만 지내던 제가 여기 이 별나라에 와서 전기를 찌릿찌릿 맞구 정신이 없었습니다. (修道院でしか暮らしたことなかった私が、この星の国に来て、電気をビリビリ受けて、てんてこ舞いでした.)
 어느 때는 하늘을 붕 날아가다가 한순간에 땅으로 쿵 처박히구,
 (ある時は空に舞い上がったかと思うと、一瞬にして地にドスンと落ちて)
 머리에서 불꽃놀이가 팡팡터지다가, (頭の中で花火が上がったかと思うと)
 한순간에 천둥, 번개, 비바람이 한꺼번에 몰아쳤습니다.
 (瞬く間に雷、稲妻、嵐が一度に押し寄せてきました.)

次は目標の語彙の擬声語・擬態語を使い、括弧の中に‘擬声語・擬態語 + 用言’を翻訳してみて童話の読み聞かせをしてみる使用の段階である。ライティングとスピーキングが同時に扱われるという点で学習の効果が高まり最終的には学習者に自信をもたらすことになる。

동화 사용

다음은 한국의 전래동화 [토끼의 간(うさぎの肝)]입니다. 문맥의 흐름을 파악하고 괄호의 ‘의성어・의태어 + 용언’을 번역하고 구연해 보세요.

쿨쿨 (낮잠을) 자다 (게게 (昼寝を) する), 느릿느릿 가다 (のっそりと出る),
 깜짝 놀라다 (びっくりする), 쫓긋쫓긋 하다 (びくびくさせる),
 쫓긋쫓긋 움직이다 (びくびく動かせる), 별별 떨다 (おどおどとしてる),
 하하하 웃다 (우하하하), 영영 울다 (와ーン와ーンと泣く)

커다란 나무 아래에서 1) (쿨쿨 낮잠을 자고 있는) 동물이 있었습니다.
 大きな木の下でゲゲ (と) 昼寝をしている動物がいました。
 거북이는 2) (느릿느릿) 토끼 앞으로 가서 말했습니다.
 亀はのっそり (と) うさぎの前に出て言いました
 토끼는 3) (깜짝놀라서) 갑자기 일어나 앉았습니다.
 うさぎはびっくりして、急に起き上がって座りました。
 거북이의 말에 완전히 चु켜세워져서 “바다 속의 용궁은 어떤 곳입니까?”
 라고 이야기에 말려들어 갔습니다.
 うさぎは亀の言葉にすっかりおだてられ、「海の中の龍宮はどんなところですか。」と、
 話にのってきました。
 기다란 귀를 4) (쫓긋쫓긋하며) 토끼는 거북이의 (이야기를 들었습니다.)
 長い耳をビクビクさせて、うさぎは亀の話の話を聞きました。
 하하하
 ハハハ
 토끼는 거북이의 말에 귀가 5) (쫓긋쫓긋 움직였습니다)
 うさぎは亀の言葉に耳がビクビク動きました。
 히야 - 정말로 아름다운 곳이다!
 ヒャー、本当に美しいところだ!
 용왕님은 6) (별별 떨고 있는) 토끼를 보고 말했습니다.
 龍王様はおどおどとしているうさぎを見ていました。
 즉시 토끼의 간을 꺼 내거라.
 さっさ (と) うさぎの肝を取り出しなさい!
 용왕님은 완전히 속아 넘어가 “그렇다면 육지로 돌아가서 간을 가져 오너라.
 거북이가 테리고 갈 테니까.” 라고 말했습니다.
 龍王はすっかりだまされて「それなら、陸に戻って、肝を取ってきなさい。
 亀が連れていくから。」と言いました。
 재빨리 도망갔습니다.
 さっさ (と) 逃げてしまいました。
 7) (하하하!) 토끼가 (웃었습니다.) 우하하하! 토끼가 웃었습니다.
 8) (영영) 큰 소리로 (울었습니다.) 와ーン와ーン과大声で泣きました。

5. 結語と課題

本研究では漫画、童話、ドラマの翻訳本を基づいて、‘擬声語・擬態語+用言’の形の目録を選定し、授業の模型を提示した。学習者に擬声語・擬態語の興味を与え、効率的に学習できるように教育案を設けた。要旨を簡単に添えておく。まず、擬声語・擬態語に翻訳本の漫画、童話、ドラマを通してアプローチした。次に、‘擬声語・擬態語+用言(叙述語)’を選定し、漫画、童話、ドラマの擬声語・擬態語を基に教授模型を提案したという点で意義がある。さらに、通常用いられている韓国語教材以外に、日常生活の中の表現を含む漫画、童話、ドラマを翻訳本から‘擬声語・擬態語’の対応パターンを取り出し、対応パターンを土台に実際授業の模型を構築した。最後に、日本人学習者に、韓国語の擬声語・擬態語が母国語の日本語で翻訳される際に、どのように訳されるのかというパターンを分析した。韓国語学習者にとって難しい擬声語・擬態語を‘擬声語・擬態語+用言’の形で翻訳本からアプローチしたという点で意義がある。しかし、翻訳本を、漫画、童話、ドラマに限定したために、用例に傾きが残ったこと、また、段階別の学習模型が構築されていないという不備が残ってしまった。それらは、今後の課題としたい。

注釈

- i 일본에서 출판된 한국어 교재에서의 의성어의태어 (‘의성어・의태어+용언’의 형태로는 제시되지 않음)

한국어 교재	급	의성어・의태어
できる韓国語Ⅰ初級	초급 1	없음
できる韓国語Ⅱ初級	초급 2	없음
できる韓国語Ⅰ中級	중급 1	똑똑, 툇툇 치다
できる韓国語Ⅱ中級	중급 2	포동포동, 따르릉, 땡땡, 뽕뽕, 째각째각, 야옹야옹, 멍멍, 우당탕, 철썩철썩, 똑똑, 덜컹덜컹, 반짝반짝, 아장아장, 보글보글, 비틀비틀, 털썩, 살금살금, 뽀뽀, 평평, 꾸벅꾸벅, 깡충깡충, 짹, 딱
最新チャレンジ! 韓国語	초급 1	없음
もっとチャレンジ! 韓国語	초급 2	딱, 슬슬, 푹
完全韓国語初級Ⅰ	초급 1	없음
話そう韓国語	초급 1	쭈, 푹
もっと話そう韓国語	초급 2	똑똑, 짹, 푹

- ii 김미옥 (2004) 擬声語・擬態語の教育的な価値を次のように提示している。

ア. 知識的な価値

①擬声語・擬態語の関連する文法の指導を通して正しい国語の使用のために体系的に文法の知識を揃えることができる。②擬声語・擬態語を活用した単語作りを通して語彙力を拡張させることが出来る。③探求学習の模型を適用することにより探求能力を育むことができる。④国語を愛し国語文化の発展に貢献しようとする態度を育むことができる。

イ. 表現的な価値

①規則的なリズムをとって表現の面白さを感じ生活経験を能動的に表現する態度を育むことができる。②豊かな語感、韻律を通して生き生きした言語の楽しさを味わうことが出来る文学鑑賞の教育の素材に適切に活用することができる。③イメージ(心像)を拡張させ詞的想像力を開発させてくれる。④四つ、擬声語・擬態語の指導を通して言語が持つ情緒的な表現の側面を簡単に接することができる。⑤知識情報の時代に合わせ含蓄的な言語使用の能力を育むことが出来る

- iii 青山秀夫 (1991)「朝鮮語象徴語辞典」大学書林

- iv 飛田良文・浅田秀子 (2002)「現代擬音語擬態語用法辞典」東京堂出版

- v 山口仲美 (2003)「暮らしのことは擬音・擬態語辞典」講談社

- vi 阿万田稔子・星野和子 (1993)「正しい意味と用法がすぐわかる擬音語擬態語使い方辞典」創拓社出版社

- vii 小野正弘 (2007)「擬音語・擬態語 4500 日本語オノマトベ辞典」小学館

- viii 국립국어원 표준국어대사전 <http://stdweb2.korean.go.kr/main.jsp>

- ix 우리말 의성어・의태어 사전 애플리케이션, ㈜ 날말

- x 韓国語教育のための韓国語連語辞典 (2007: 1158)

- xi 김지현 (2007)는韓日兩國語の擬声語・擬態語の翻訳作品を通して四つの特徴をまとめた。第一、‘強調の機能’である。擬声語・擬態語を入れてなくても意味は通じるが起る行動や描写しようとする様子と状態がどれ位の頻度で起きるのかからにどういうふうになるのか話者が感じさせようとする。第二、‘象徴的な機能’である。これは読者がまるでその現場にいて見ているような感覚になるようにさせる。第三、‘叙述の機能’である。これは文学作品の中で文章の中でそれを盛り込んで

いる叙述語を連想することができる、読者が擬声語・擬態語を理解するのに混乱を与えない。最後に、‘含蓄の機能’を持つ。即ち、擬声語・擬態語を使うことにより他の言葉には長く説明しなくても十分その意味とニュアンスを伝えることが可能である。

- xii 의성어: 깔깔, 깔깔, 꼬끼오, 꼬르륵, 꼬끌꼬끌, 꿀꿀, 뚝, 멍멍, 뽕뽕, 앙앙, 아옹, 짹짹, 쿵쿵, 광, 휘휘, 획, 하하하(17).
의태어: 강충강충, 꼭, 짹, 따끔따끔, 딱, 뚝, 반짝반짝, 뽀뽀, 벌컥벌컥, 보슬보슬, 빈둥빈둥, 빙그레, 빙빙, 솔솔, 쓱, 살랑살랑, 싱글벙글, 우물우물, 옥신옥신, 줄줄, 지끈지끈, 쟁, 쪽, 척척, 펄펄, 폭, 훌쩍, 활짝, 훨훨(29)
- xiii Uは二つの条件の内に一つだけ満たされることを認める記号で和集合の記号を使うことにする (손남익 1998 : 126)
- xiv ∩は二つの条件をすべて満たす記号で和集合の記号を使う。(손남익 1998 : 126)
- xv 導入 (warm-up) - 提示 (presentation) - 練習 (practice) - 活用 (use) - 整理 (follow-up) の5段階に分け

参考文献

〈韓国語文献〉

- 강소정 (2013), 「일본어 오노마토펬 교육현황 분석」日本近代学硏究 第41.
- 강항비 (2013), 「한국어 교육용 의성어·의태어의 목록 선정과 교육내용 연구」, 경희사이버대학교 석사학위논문.
- 김광태 (2005), 「일한 양언어의 감정의 오노매토펬어 연구」, 한국외국어대학교 대학원.
- 김미옥 (2004), 「초등학교 국어와 흥내말 지도 방안」, 『어문학교육』 28, 한국어문교육 학회. pp39-75.
- 김윤경 (2009), 「한국어 ‘상징부사 + 용언’ 형 언어의 목록 선정과 교수 활동 연구」, 부산 외국어대학교 석사학위논문.
- 김은애 (2006), 「擬声語・擬態語의 特徵 및 教育 方法 考察」, 경상대학교대학원 석사학위논문.
- 김중섭 (2001), 「한국어 학습자를 위한 의성어의태어 교육 방법 연구」 한국문화연구, Vol.4. pp177-193. 경희대학교 민속학연구소.
- 김지현 (2007), 「翻譯作品을 통해서 본 韓日兩國語의 오노마토펬 硏究」, 한국어외국어대학교 석사학위논문.
- 김차수 (2006), 「현대 일본 만화에 사용된 의태어 연구」, 고려대학교 석사학위논문.
- 권장미 (2013), 「한국어 학습자의 한국어 번역텍스트에 나타난 특성 연구」, 계명대학교 석사학위논문.
- 민서창 (2009), 「일본어 오노마토펬에 관한 일고찰 - 일본만화와 옛날이야기를 중심으로」, 한국외국어대학교 석사학위논문.
- 문정현 (2011), 「한국어 학습자를 위한 ‘상징부사 + 용언’ 형 언어 연구」, 배재대학교 석사학위논문.
- 박동근 (2007), 동화 텍스트의 흥내말 사용 양상 연구, 동화와 번역 14.
_____ (2008), 『한국어 흥내말의 이해』, 서울: 도서출판 역락.
_____ (2008), 「한국어 만화 텍스트의 흥내말 사용 양상」, 『겨레어문학』 41 겨레어문 학회.
- 박옥수 (2014), 「동화번역 과제 수행에서 학부생이 겪는 문제점 연구」, 동화와 번역 28.
- 박정아 (2012), 「PPP 수업 모형과 ESA 수업 모형의 효과 비교: 영어 듣기·말하기 능력 신장과 정의적 측면」, 서울교육대학교 석사학위논문.
- 박진영 (2013), 「모바일 기반 학습을 위한 한국어 의성어·의태어 콘텐츠 구성 방안」, 배재대학교 석사학위논문.
- 배현숙 (2006), 「외국인을 위한 한국어 의성어·의태어 교수법 연구」, 『이중언어학』 제 31 호, 이중언어학회, 97-121.
- 서울대학교 국어교육연구소 (2014), 『한국어교육학사전』, 도서출판 하우.
- 손남익 (1998), 「국어 부사어와 공기어 제약」, 『한국어의미학』 3, 한국어의미학회.
- 손남익 (1999), 「국어 부사어와 공기어 제약」, 『한국어학』 9, 한국어학회.
- 신미향 (2010), 「코퍼스를 이용한 수준 단계별 일본어 의성어·의태어 선정에 관한 연구」, 계명대학교 석사학위논문.
- 양소영 (2005), 「수업 모형에 따른 학습자의 정의적 반응 분석 비교: PPP 모형과 TBI 모형 중심으로」, 한국외국어대학교 석사학위논문.
- 요시다다카 (2009), 「일본인 모어화자와 한국인 학습자의 일본어 오노마토펬에 대한 이미지」, 건국대학교 석사학위논문.
- 유경수·홍용기 (2011), 「드라마를 활용한 한국어 교수법의 실제 - <시크릿가든> 을 중심으로 -」, 국어교육연구 49, pp.291-328.
- 윤소희 (2006), 「일본 만화 번역 연구 - 만화번역의 문제점과 오역 사례를 중심으로」, 선문대학교 석사학위논문.
- 윤희원 (1993) 「의성어·의태어의 개념과 정의」 『새국어생활』 제 3 권 제 2 호.
- 이기웅 (2008), 「한국어 교육을 위한 한일 의성어·의태어 대조 분석」, 상명대학교 석사학위논문.
- 이소정 (2010), 「한국어 학습자를 위한 의태어 결합 형태 분석 연구 ‘- 거리-’, ‘- 대-’, ‘- 이-’, ‘- 하-’ 를 중심으로」, 경희대학교 석사학위논문.
- 이란희 (2012), 「외국인을 위한 의태어 교육 방법」, 울산대학교 석사학위논문.
- 이미연 (2009), 「한일 食에 관한 의성어·의태어 고찰」: 『ラーメン発見博』 그 번역본을 중심으로, 계명대학교 석사학위논문.
- 이은경 (2004), 「일한·한일사전에 있어서 의성어·의태어 번역의 비교 분석」, 日本硏究, 第3輯.
- 이현정 (2003), 「일본어 의태어에 관한 일고찰: 한국어 대응역에 나타난 이미지의 대조분석을 통하여」 명지대학교 석사학위논문.
- 임지현 (2007), 「오노마토펬에 관한 형태론·의미론적 연구: 한·일 명작 소설의 한·일 양국 번역서를 통한 대조 고찰」 중앙대학교 석사학위논문.
- 정성국 (2003) 「한·일 만화에 나타나는 의성어·의태어 연구: 번역 상에 있어서의 문제점에 관하여」 중앙대학교 석사학위논문.
- 정순매 (2004), 「한국어 교육을 위한 의성어·의태어의 한·중 대조 연구」, 서울대학교 석사학위논문.
- 장학련 (2012), 「중국인 학습자를 위한 한국어 의성어·의태어 교육 연구」, 부산외국어 대학교 석사학위논문.
- 조영숙 (2009), 「전래동화에 나타난 국어의 의성어·의태어 연구」, 충남대학교 석사학위 논문.

진기호 (1998), 「국내 주요 한국어 교재 8 종 어휘 사용 실태 조사」, 『한국어 세계화 추진을 위한 기반 구축 사업 1 차 결과 보고서』, 문화관광부 한국어 세계화 추진 위원회.
 _____ (1998), 『한국어 교육을 위한 기초 어휘 선정』, 문화관광부 한국어 세계화 추진 위원회.
 천광태 (2009), 「일한 번역시 나타나는 오노마토펬 번역에 관한 고찰 - 생략되는 오노 마토펬를 중심으로 -」, 부산외국어대학교 석사학위논문.
 채 완 (2003), 『한국어의 의성어와 의태어』, 서울대학교 출판부.
 채 완 (2002), 「의성어·의태어의 텍스트별 특성」, 『국어국문학』 132, 국어국문학회.
 하송이 (2013), 「웹툰을 활용한 의성어 의태어 교육 방안 연구」, 충남대학교 석사학위 논문.
 한주연 (2015), 「언어 관계를 이용한 의성어·의태어 교육 방안 연구」, 경희사이버대학교 석사학위논문.
 후 쟁 (2013), 「드라마 장면을 활용한 한국어 말하기 교육 방안 연구 - 초급 중국인 학습자를 대상으로 -」, 영남대학교 석사학위 논문.

〈日本語の参考文献〉

青山秀夫 (1972), 「現代朝鮮語の擬声語」, 『朝鮮學報』 65, 朝鮮學會.
 青山秀夫 (1991), 「朝鮮語象徴語辭典」, 大學書林.
 青山秀夫 (1993), 「象徴語の一部の派生接尾辞について」 『朝鮮學報』 145, 朝鮮學會.
 阿久津智 (1994), 『絵でわかるぎおんご・ぎたいご: 日本語の表現力が身につくハンドブック』 アルク.
 阿万田稔子・星野和子 (1995), 『擬音語・擬態語使い方辞典 正しい意味と用法がすぐわかる』 創拓社.
 大谷洋子 (1989), 「擬態語の特徴」, 『日本語教育』 68, 日本語教育学会.
 小野正弘 (2007), 『擬音語・擬態語4500 日本語オノマトベ辞典』 小学館.
 金水敏 (2010), 「役割語研究の展開」, くろしお出版.
 野間秀樹 (1990), 「朝鮮語のオノマトベ - 擬声語擬態語の境界画定 音と形式 音と意味について -」, 学習院大学言語共同研究所紀要, 13, 学習院大学言語共同研究所.
 日本国語大辞典第二版編集委員会 (2006), 『日本国語大辞典』 第二版 小学館.
 日本語教育学会編 (2000), 『日本語教育辞典』 縮刷版 大修館書店.
 三上京子 (2004), 「多義オノマトベの意味・用法の記述と指導の試み」 - 「ごろごろ」「ば たばた」を例として - 『小出記念日本語教育研究会論文集』 12 pp.63-77.
 _____ (2006), 「日本語教育のための基本オノマトベの選定とその教材化」 『I C U H 本語教育研究』 3, pp.49-63.
 _____ (2007), 「日本語オノマトベとその教育」 早稲田大学 博士論文.
 飛田良文・浅田秀子 (2002), 『現代擬声語擬態語用法辞典』 東京堂出版.
 日向茂男・日比谷潤子 (1989), 『外国人のための日本語例文・問題シリーズ14 擬音語・擬態語』 荒竹出版.
 許脚姫 (1989), 「日・韓両言語における音象徴の比較対照研究」, 日本語教育68, 日本語教育学会.
 山口伸美 (2003), 「暮らしのことは擬音・擬態語辞典」 講談社.
 〈教材〉
 연세대학교 대학출판문화원 (2012), 「외국인을 위한 한국어 어휘 연습 (중급)」 일본어 판, 연세대학교 한국어학당.
 _____ (2012), 「외국인을 위한 한국어 어휘 연습 (고급)」 일본어 판, 연세대학교 한국어학당.
 新大久保語学院・李志暎 (2005), 「できる韓国語 I 初級」, DEKIRU 出版.
 _____ (2005), 「できる韓国語 II 初級」, DEKIRU 出版.
 _____ (2007), 「できる韓国語 I 中級」, DEKIRU 出版.
 _____ (2010), 「できる韓国語 II 中級」, DEKIRU 出版.
 金順玉・版堂千津子 (2014), 「最新チャレンジ! 韓国語」, 白水社.
 金順玉・版堂千津子 (2007), 「もっとチャレンジ! 韓国語」, 白水社.
 徐珉庭・吉本一 (2012), 「話そう韓国語 - 初級韓国語のためのコミュニケーション練習 -」, 同学社.
 徐珉庭・吉本一 (2013), 「もっと話そう韓国語 - 初級から中級へステップアップ -」, 同学社.
 松岡雄太・沈 智炫 外 (2015), 「完全韓国語初級 I」, 同学社.

〈翻訳本〉

권현정 (2009)/ 홍정은, 홍미란 원작, 미남이시네요 1, 북로그컴퍼니.
 권현정 (2009)/ 홍정은, 홍미란 원작, 미남이시네요 2, 북로그컴퍼니.
 新井奈美 (2013), 「다락원 일한 대역문고 - 초급 6 일본 전래동화」, 다락원.
 岡智之 (2011), 「다락원 일한 대역문고 - 초급 9 일본신화」, 다락원.
 呉美智 (2012), 美男ですぬ 1 (ドラマの全セリフで学ぶ韓国語), キネマ旬報社.
 呉美智 (2012), 美男ですぬ 1 (ドラマの全セリフで学ぶ韓国語), キネマ旬報社.
 조희철・男澤慶子・堀野裕子 (2010), 「일본 옛날 이야기 시리즈 1 일본 재미있는 옛날 이야기」, (주) 시사일본어사.
 조희철・男澤慶子・堀野裕子 (2011), 「일본 옛날 이야기 시리즈 2 일본 재미있는 옛날 이야기」, (주) 시사일본어사.
 황금자 (2013), 「일본어 독해가 즐거워지는 일본 전래 동화」, 동양북스.
 황금자 (2011), 「일본어 독해가 즐거워지는 세계 명작 동화」, 동양북스.
 황금자 (2009), 「일본어 독해가 즐거워지는 한국 전래 동화」, 동양북스.
 황금자 (2009), 「일본어 독해가 즐거워지는 이솝 우화」, 동양북스

〈インターネットウェブサイト〉

국립국어원 <http://www.korean.go.kr>

국립국어원 표준국어대사전 <http://stweb2.korean.go.kr>

돌망새 <http://www.ddolmansae.com>

『우리말 의성의태어 사전』 애플리케이션, (주) 날말.